有限会社　エフ・アンド・エフ

取り扱い説明書

自動楽譜めくり機　Doremi_Flipper（ドレミフリッパー）

Rev.101

2019 年 7 月 1 日

FW:Vr.2

内容

1. 本機の特徴 3
2. 同梱品リスト 3
3. 事前準備 4
4. 注意事項 5
   4-a 本体装置 5
   4-b 譜面台でのご使用 6
   4-c 楽譜 6
   4-d 粘着ヘッド 6
   4-e 楽譜ファイル 6
5. 本体装置　各部名称 7
6. コントローラ　各部名称 8
7. 楽譜のセット，交換方法 9
8. 粘着ヘッドの準備とクリーニング 18
   8-ａ　ヘッドカバー着脱方法 18
   8-ｂ　ヘッドクリーニング方法 19
   8-c　粘着ヘッドの交換方法 20
      8-c-1 粘着ヘッド引き抜き方法 21
      8-c-2 粘着ヘッド装着（差し込み）方法 22
   8-d　ヘッドサイズの選定方法 23
9. メイン電源投入 24
10. ページめくり動作 25
   10-a ページめくり動作　一覧 25
   10-b 標準モード　順めくり 26
   10-c 練習モード 27
      10-c-1 練習モード設定　（１ページ戻し機能が使えるモード） 27
      10-c-2 練習モード　順めくり 28
      10-c-3 1 ページ　もどし 29
      10-c-4 1 ページ　戻し後の　ページ捲り 30
      10-c-5 練習モードの終了 30
11. Low Battery　表示　（電池容量低下警告） 30
12. エラー　表示、　解除方法 31
13. 20 分タイマー機能 31
14. 電源　OFF 32
   14-a 手動でヘッドをホーム位置に戻す方法 32
      14-a-1　電源 OFF 時、ヘッドが左側のページの下で待機していた場合 32
      14-a-2　電源 OFF 時、ヘッドが右側もしくは途中で止まっていた場合 32

14-b 電源リセットでヘッドをホーム位置に戻す方法 33
14-c ヘッドガバーを粘着ヘッドにセット 33
15. 収納，移動時 34
16. フットスイッチ　接続方法　（本製品には同梱されておりません。） 35
17. 手動ページめくり方法 36
18. 楽譜専用クリアファイルの使用方法 37
19. トラブルシューティング 38
20. 製品仕様 39
21. 保守サービスのご案内 39

Doremi_Flipper　取り扱い説明書

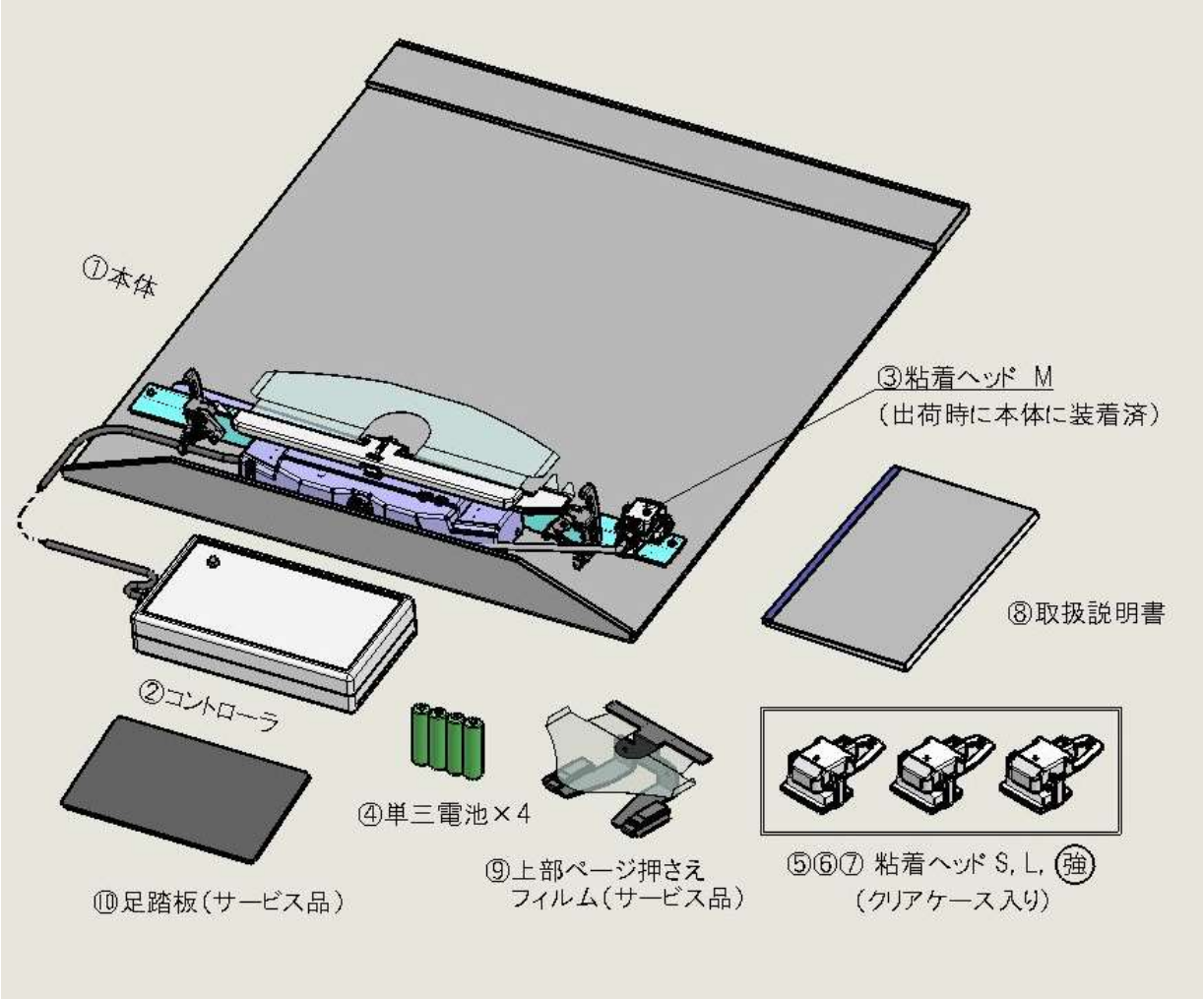
Rev. 1.01

有限会社　F&F

1. 本機の特徴

・コントローラ操作により、自動で譜面のページをめくることが出来る装置です。

2. 同梱品リスト



①本体

②コントローラ

③⑤⑥⑦粘着ヘッド　S,M,L,(強)　（各 1 個）※粘着ヘッド M は出荷時に本体装着済

④単三電池　4 本

⑧取り扱い説明書（本書）

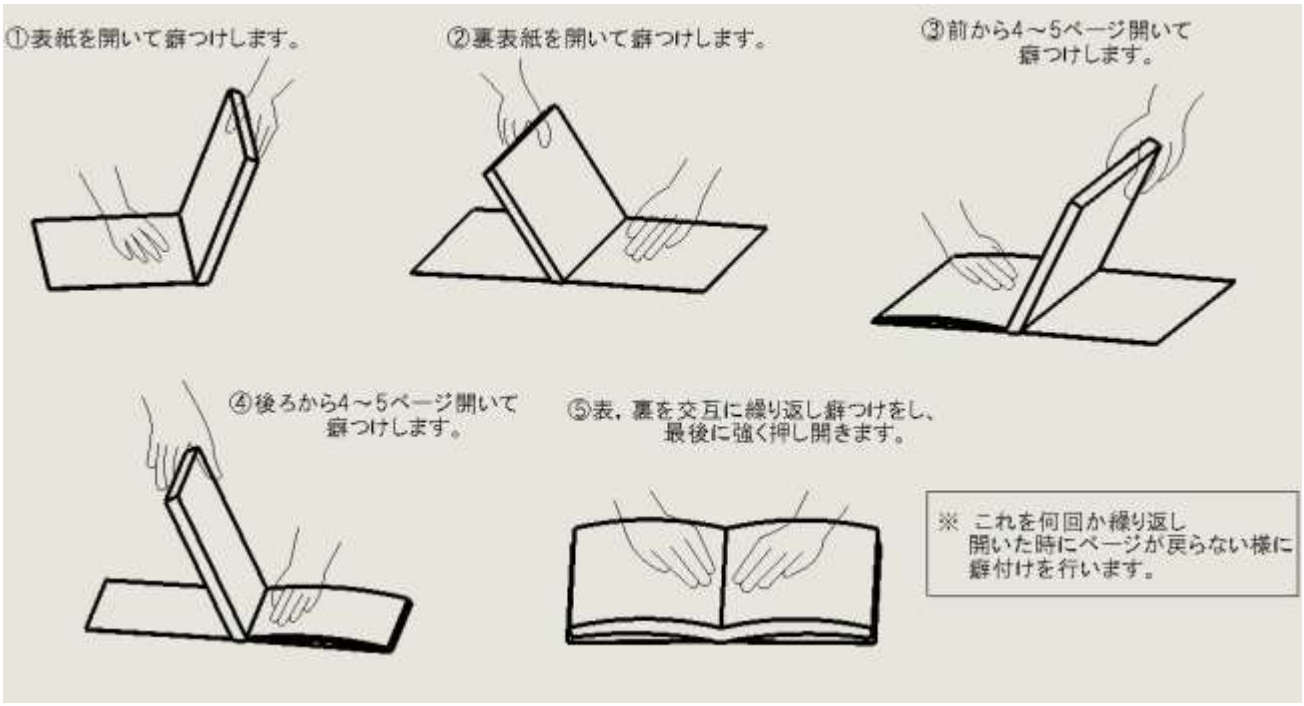
⑨上部ページ押さえフィルム（サービス品）

⑩足踏板（サービス品）※出荷時にコントローラに組み込み済み

3. 事前準備

・新品の楽譜は先ず始めに数ページ毎に折りぐせをつけてください。
・その後、練習するページ毎に１ページずつ癖付けを行ってください。
・癖付けを行うときは背割れがおきないように注意して進めてください。
・譜面立てに楽譜を開いて置いて手でめくり、めくったページが浮いたり戻ったりしなくなるまで充分に癖付けを行ってください。

※楽譜の癖付けがきちんと出来ていないと、本装置では楽譜を上手くめくることができません。



4. 注意事項

4-a 本体装置

・本装置は楽器の練習用に適した商品です。演奏会等でご使用になる場合は、本装置の特性を良く理解していただき、ご利用者様責任でのご使用をお願い致します。
・園児や幼い子供が近くにいる場所で使用する場合は、大人の監督下のもと安全に十分注意をはらってご使用ください。（怪我、楽器の破損等、ご注意ください。）
・楽譜の紙質、厚さ、製本状態によっては、ページめくり動作がうまくできない場合があります。その場合は手動でページめくりを行ってください。
・ホコリや花粉の舞う環境での本機のご使用はお控え下さい。粘着ヘッドが本来の性能を出せない場合があります。
・自社での手加工により製造しているため、色や形などの製品のばらつき、多少の傷や汚れが発生する場合がございます。
・本製品には、楽譜立て、フットスイッチは含まれません。
・フットスイッチは市販の適合する商品を購入してご使用ください。ご購入の際はΦ6.35mm フォンジャック仕様で、極性切替機能付をお選びください。
・本製品を使用する場合は、著作権法を遵守してください。
・本製品は、使用中モーター音が生じます。
・本製品をピアノなど直接楽器に設置する際、傷や破損が生じる場合がございます。また、粘着パッドの性質から、楽譜を汚損・破損する可能性がございます。楽譜は、万一汚損や破損が起きても問題ないものをご使用ください。
・高価な楽譜などの場合、コピーファイルを作成し、コピーの方をお使いいただくなどの対策をお願い致します。
・楽譜の同じページの反復使用により、ページの貼付面が劣化したり、ページの端面がページ押えフィルムやページガイド等により傷つけられたりする場合があります。
・本製品のご使用によって発生する楽器、楽譜、床等への破損・汚損、また、演奏に不都合が生じた場合の演奏自体への保証について、弊社では一切の責任を負うことができません。ご利用者様責任でのご使用をお願い致します。
・本装置を動かすには単 3 電池 4 本が必用です。＋－を間違えずに挿入してください。
・電池は新品の物をご使用下さい。交換する際は新旧混在でのご使用はお控えください。
・本製品は①電波法非対象 ②RoHS 非対象　の商品になります。
・本体は防水機能がありません。水滴が掛かるような場所でのご使用はお控えください。
・コントローラケーブルの引っ掛け等による装置の譜面台からの落下にご注意ください。
・装置稼働中（レバー動作中）は危険ですので、手や顔を装置に近づけないでください。
・無理にヘッドレバーを手で戻さないでください。内部ギアが破損する恐れがあります。電源を入れ直してホーム位置にお戻しください。

4-b 譜面台でのご使用

・譜面台の立ち角度は 70 度以下でご使用ください。70 度以上、譜面が立ちますとページが上手くめくれない場合があります。
・アップライトピアノに御使用になる時は、譜面台からの装置の落下にご注意ください。また、譜面の角度が急でページが旨く捲れない場合は、サービス品の上部ページ押さえフィルムを併用してご使用ください。
・一部のアップライトピアノでは譜面が立ちすぎて使用困難な場合があります。

4-c 楽譜

・高級品，代替の効かない楽譜の本装置での使用はお控えください。楽譜を劣化，破損させる恐れがあります。市販の楽譜ファイル等の使用を推奨いたします。
・癖付けが弱い楽譜、背割れがある楽譜は上手くめくれない場合があります。
・楽譜のサイズによっては本装置に適合しない場合があります。
・長時間、本機上で楽譜のページを開いた状態で放置していますと、楽譜表面にホコリが堆積して使用時に粘着ヘッド面を著しく汚す可能性があります。開いた状態で放置されていた楽譜で本機を使う場合は、紙面上のホコリを払うと同時に、開いていたページをめくった後にヘッドクリーニングを必ず行って下さい。
・2 枚めくり防止機能は付いていますが、静電気等で貼り付いたページを上手く分離出来ない場合があります。その時は手動で貼り付いて一緒にめくれたページを戻してください。
・楽譜の紙質によっては本機の粘着ヘッでは吸着出来ない場合があります。その場合は市販の楽譜ファイル等でご対応ください。

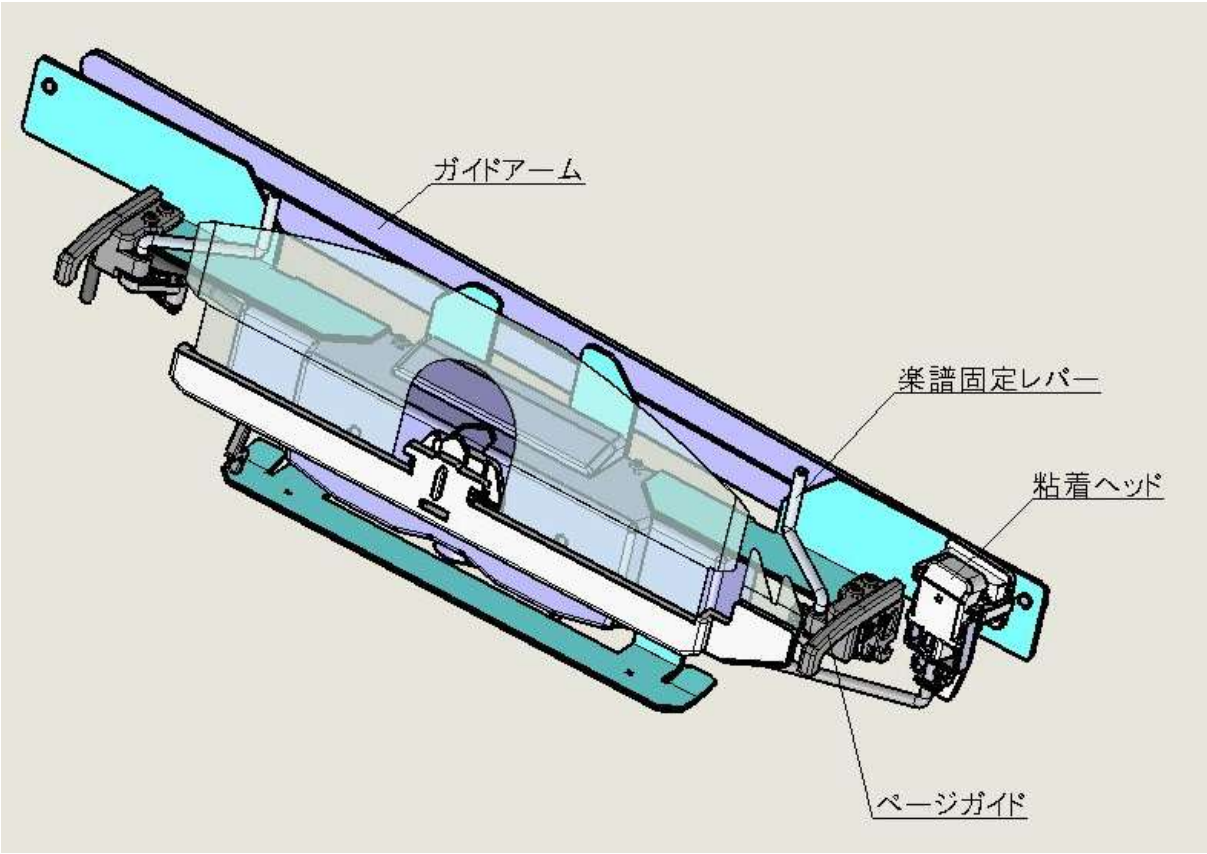
4-d 粘着ヘッド

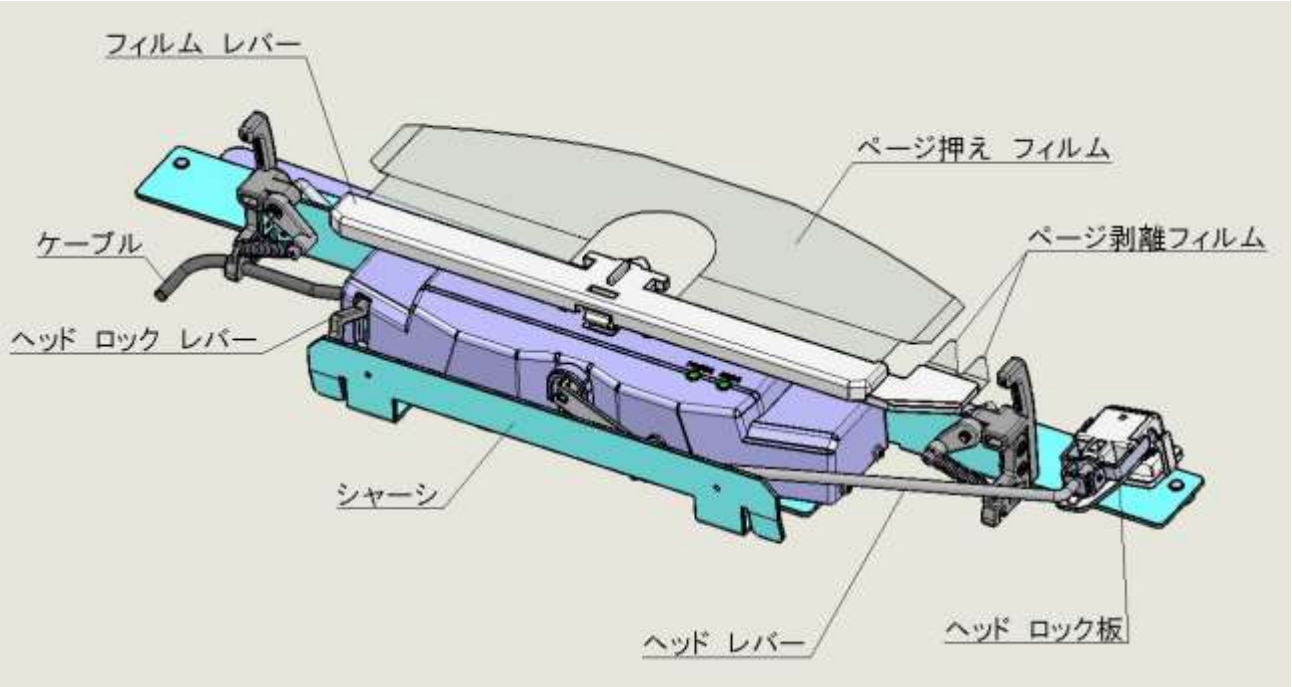
・粘着ヘッドの粘着面を直接手で触ったりしないでください。吸着力が低下いたします。
・吸着力が低下した場合は、クラフトテープで表面の汚れをクリーニングしてください。（それでも復帰しない場合は、新しいヘッドを購入してお使いください。）
・本装置保管時はヘッドカバーをセットして吸着パッドをホコリから保護してください。
・**長時間粘着ヘッドをページに貼り付けたままで放置しないでください**。ページに油分が付着する恐れがあります。

4-e 楽譜ファイル

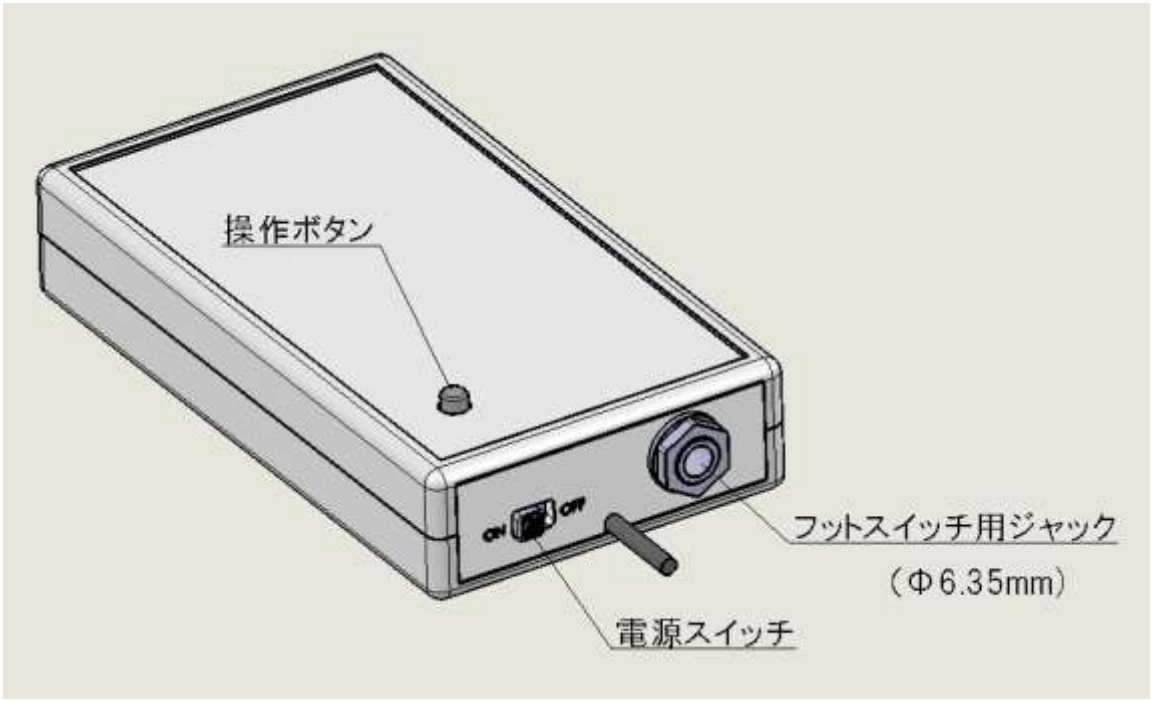
・楽譜ファイルご使用時は下記の内容をご確認下さい。
〇推奨の紙シールをファイルのヘッド吸着面位置に貼って御使用下さい。
〇本装置でのページめくり動作中にファイルから用紙が外れてしまう場合は、
　フィルムと紙の境にテープを貼って用紙をファイルに固定してご使用ください。
〇手でめくって支障のあるファイル（めくり難いファイル）は御使用できません。
〇楽譜ファイルの外カバーが湾曲や変形している物は本装置では御使用できません。

5. 本体装置　各部名称


ガイドアーム
楽譜固定レバー
粘着ヘッド
ページガイド


フィルム レバー
ページ押え フィルム
ケーブル
ページ剥離フィルム
ヘッド ロック レバー
シャーシ
ヘッド レバー
ヘッド ロック板

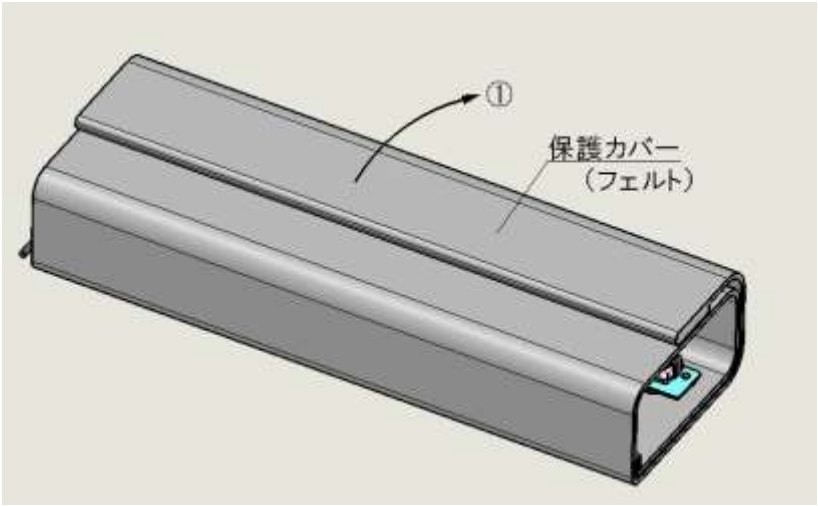
6. コントローラ　各部名称



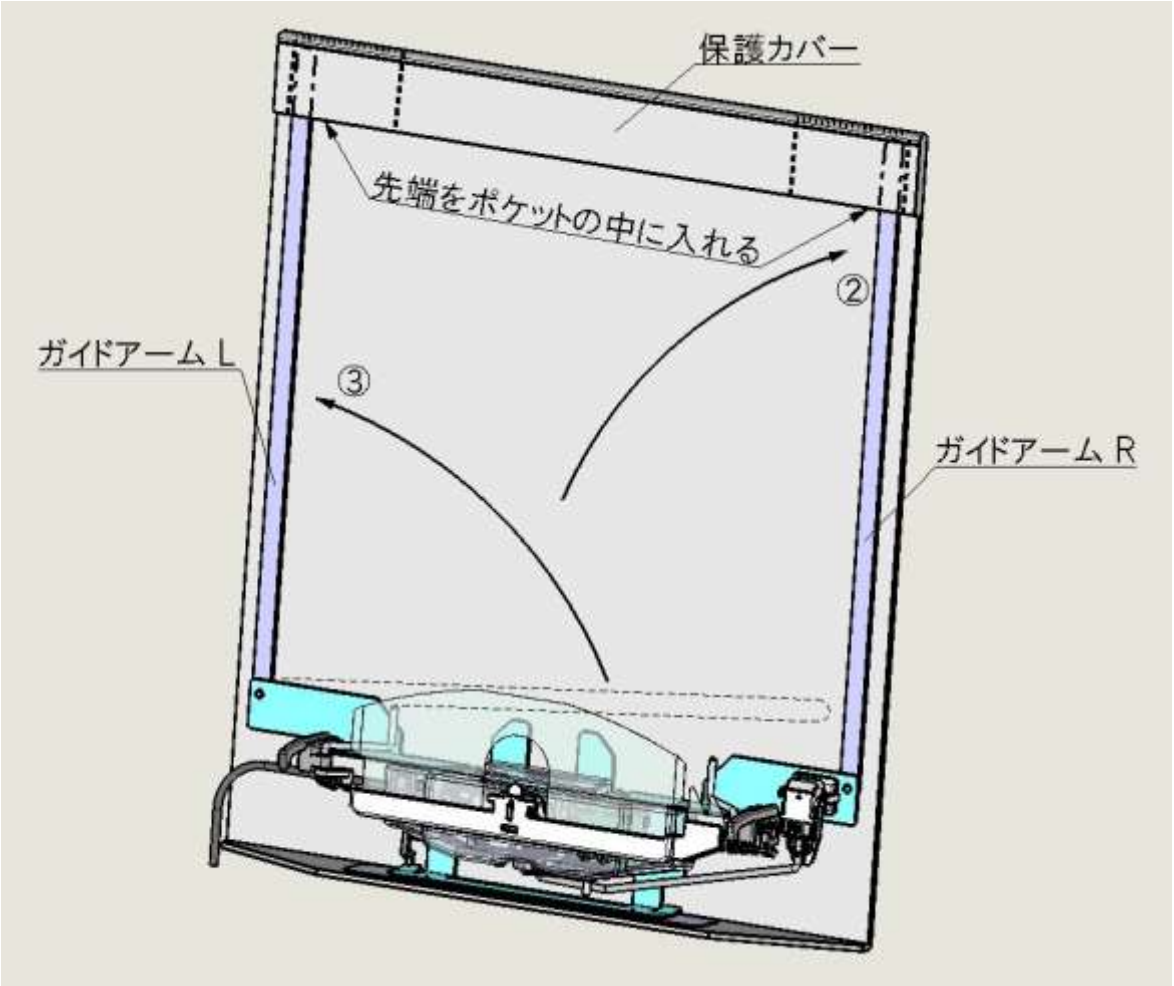
7. 楽譜のセット，交換方法

・丸めてある保護カバーを広げます。(①)

・保護カバーは譜面立てを本装置で傷つけないように保護する役目があります。

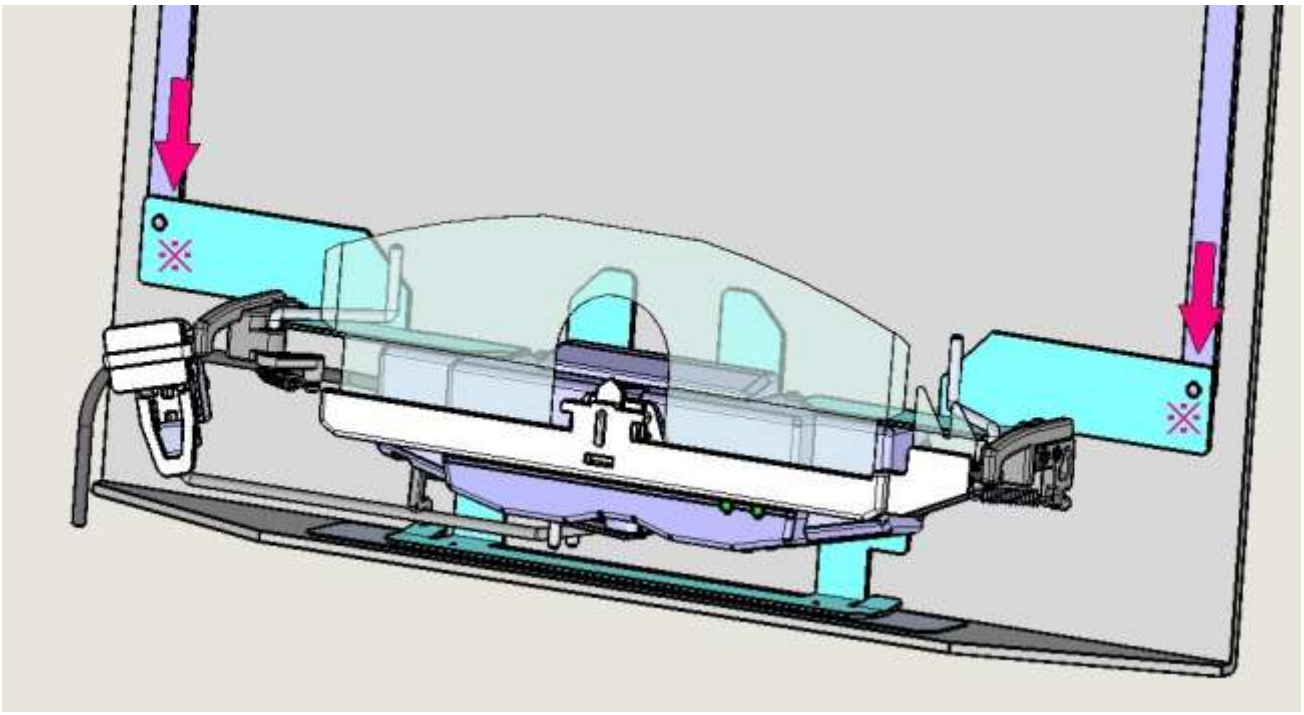


・ガイドアームを本体から引き出して、先端をポケットの中に差込ます。(②⇒③)



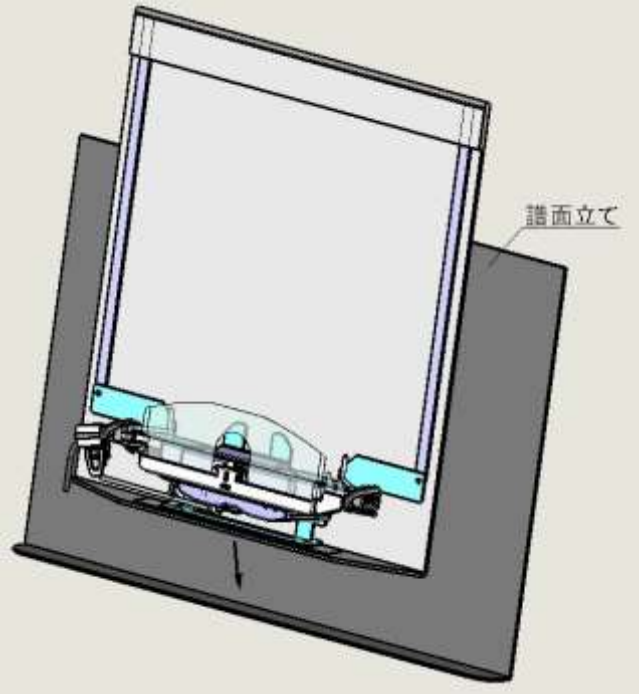
※ガイドアームの操作はゆっくり丁寧に行ってください。

・保護カバーの袋を少し引っ張って押し広げながらガイドアームを差し込んでください。

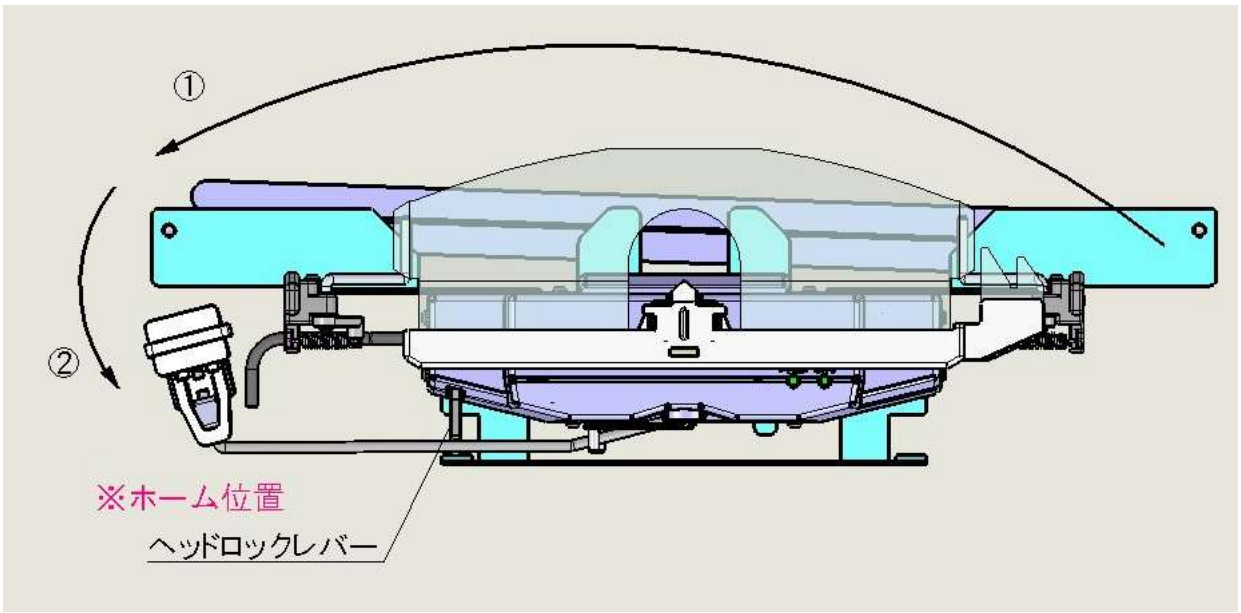


・製品本体の※部に矢印方向から強い力を加えないでください。変形するおそれがあります。
・何らかの原因で変形してしまった場合は手で変形を修正してご使用ください。
修復が難しい場合や困難な場合は修理窓口まで御相談ください。

・装置を譜面立てに設置します。
※譜面立てに設置後の、楽譜の立ち角が 70 度以下であることを御確認ください。

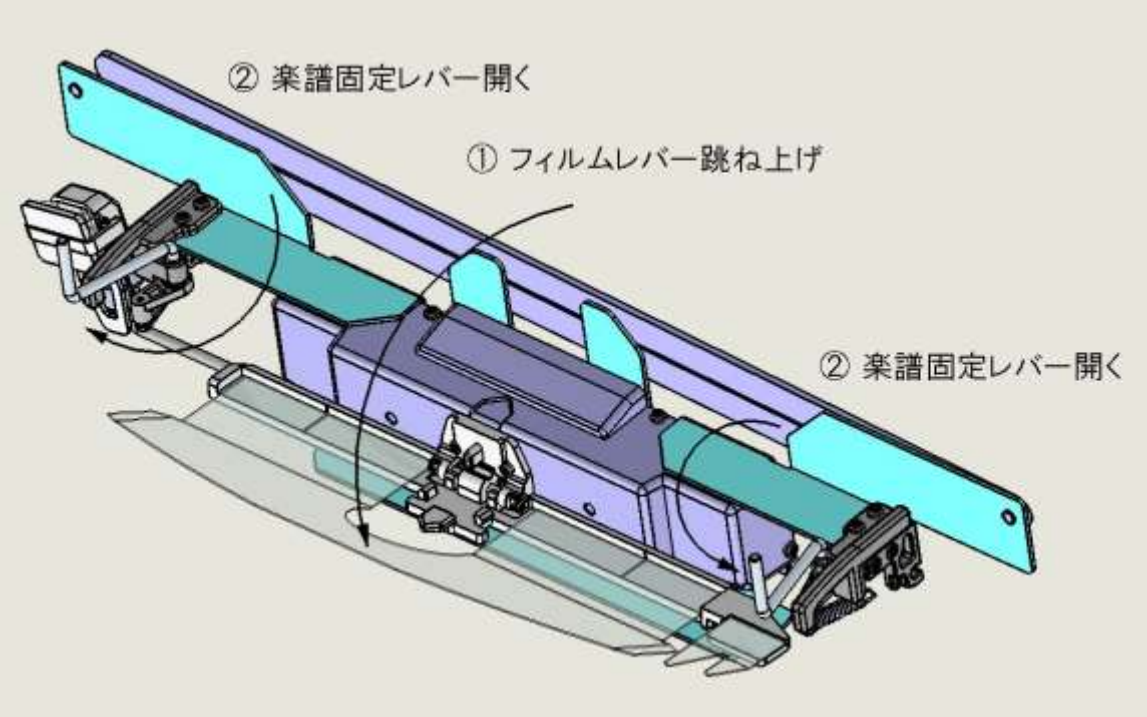


・粘着ヘッドがホーム位置にいない場合は、電源を一度入れ直すか（ON ⇒ OFF）手動でホーム位置にヘッドを戻してください。　※出荷時は右側に粘着ヘッドがあるので、電源を入れ直しヘッドをホーム位置に移動させてから作業してください。（14-a,b 参照）
・手動で戻す場合は、ヘッドレバーを左側に回転させて止まるところまで動かし（①）行き止まったら今度は下側にヘッドレバーを動かして、ヘッドロックレバーにヘッドレバーを引っ掛けてロックさせます（②）。
・ヘッドはこの状態で仮固定されます。（※ホーム位置）

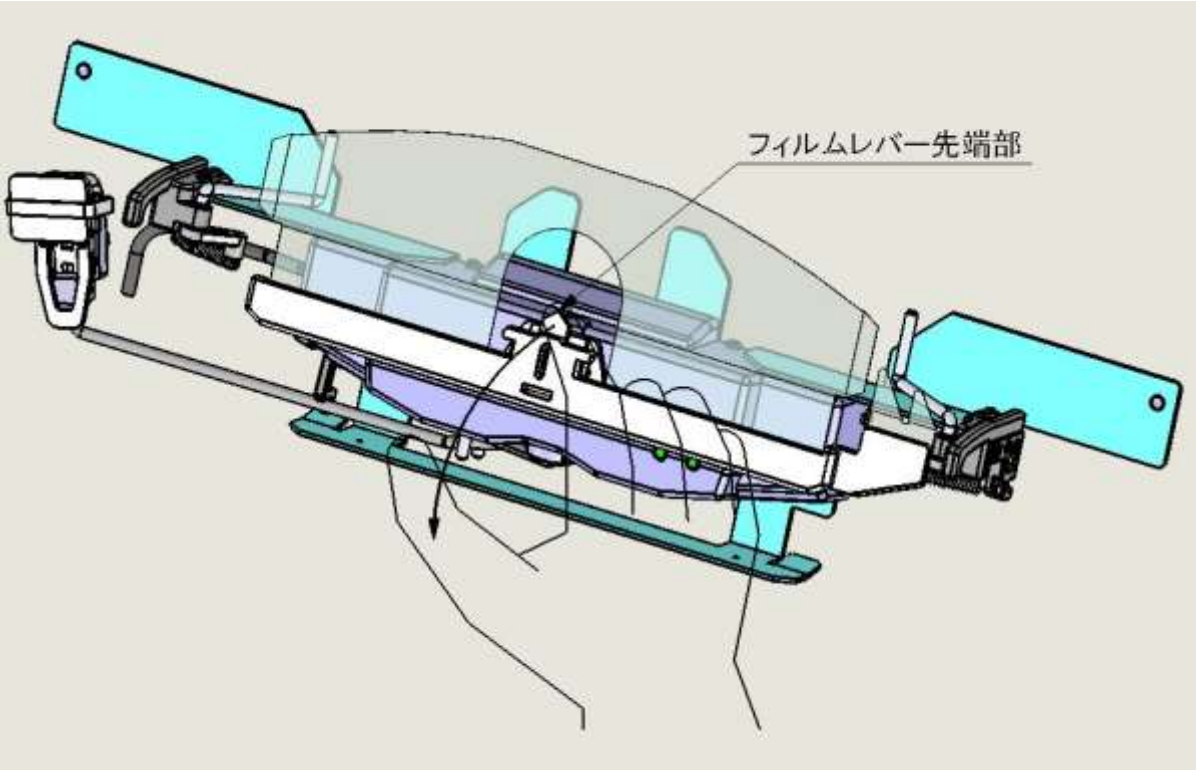


※一連の動作後、必ず電源スイッチを OFF にしてから作業を続けてください。

・フィルムレバーを跳ね上げた後（①）、楽譜固定レバー（左右）を開きます（②）。

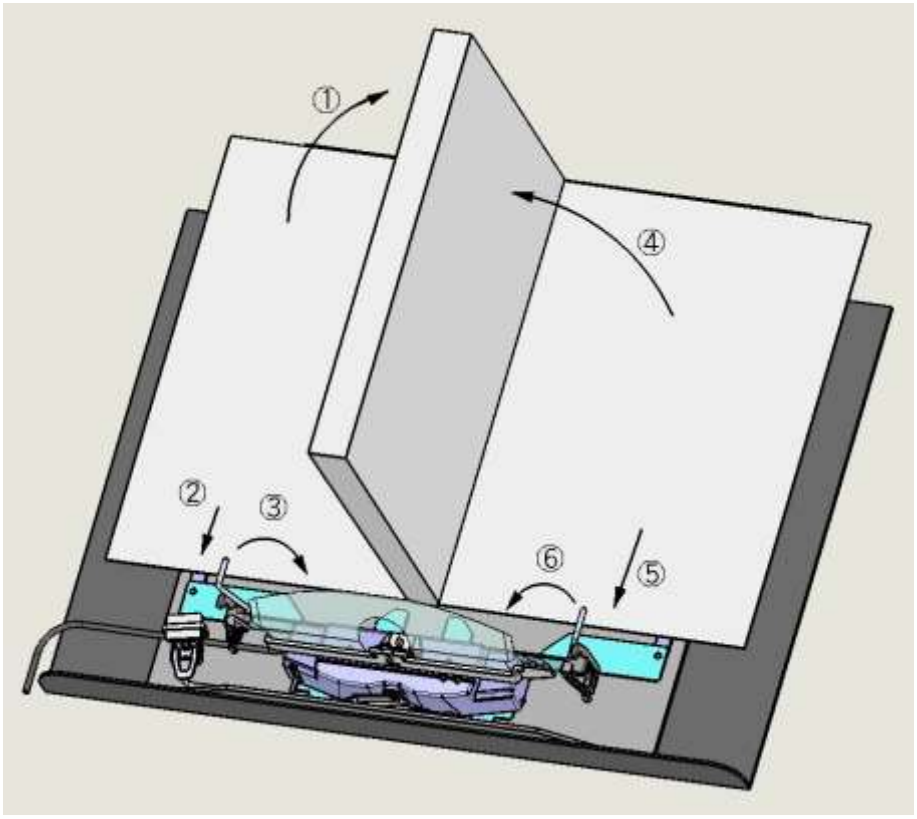


・フィルムレバーを跳ね上げる時は、フィルムレバー先端部を指先で引っ掛けて手前に引いて跳ね上げてください。

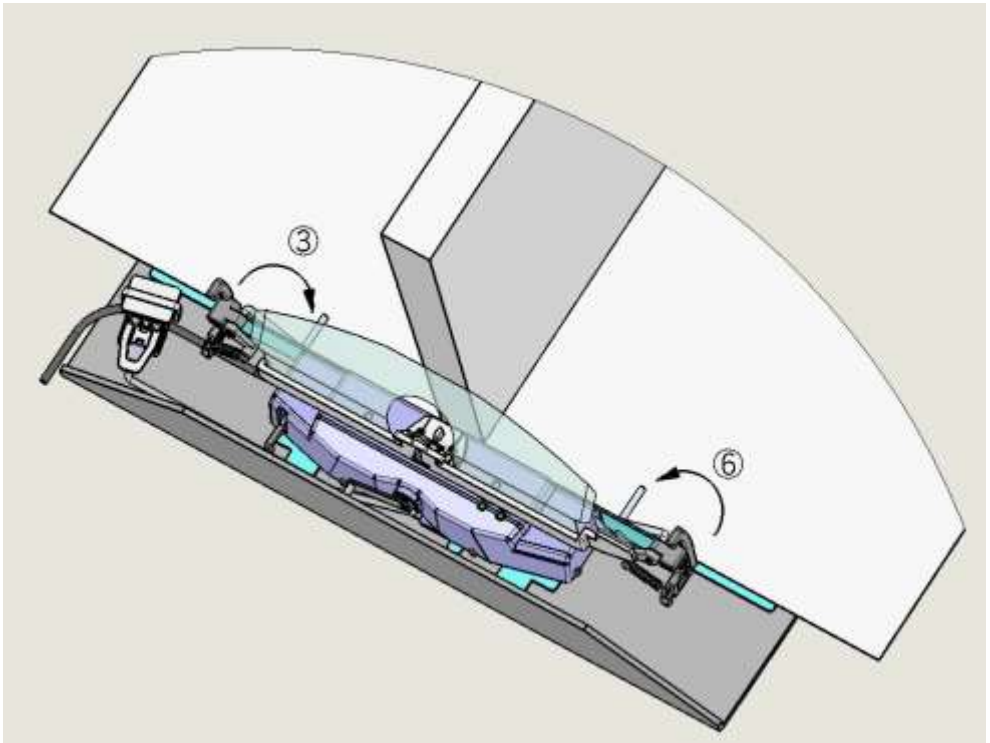


※フィルムは柔らかい素材ですので、破損しないように丁寧に扱ってください。

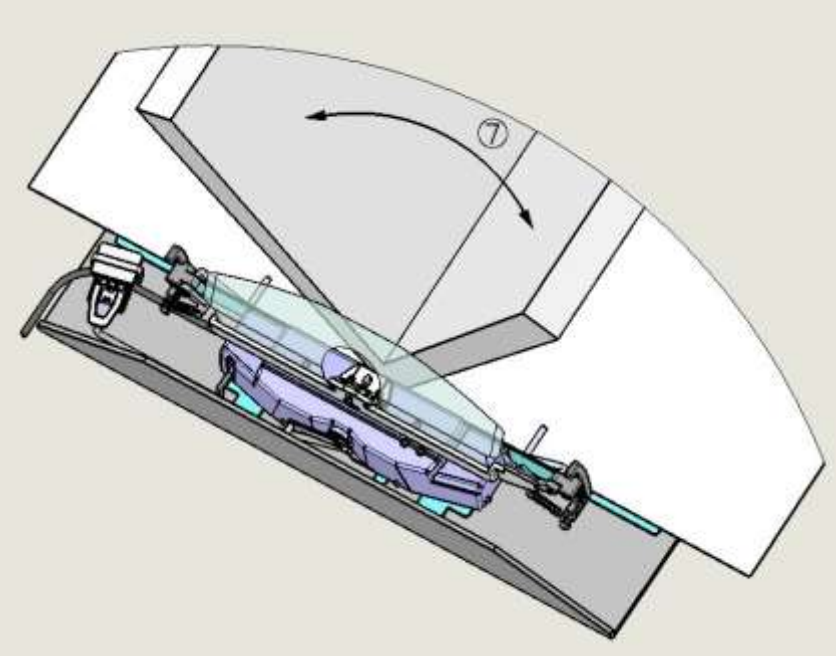
・上から楽譜を差し込み、背表紙を楽譜固定レバーで挟み込み固定します。
・表紙側(①②③) ⇒ 背表紙側（④⑤⑥）の順に表紙を差し込み、固定レバーを閉じて楽譜を固定してください。
※厚い楽譜の場合は、使わないページも背表紙と一緒に固定レバーに挟み込むとより安定したページめくりが出来ます。



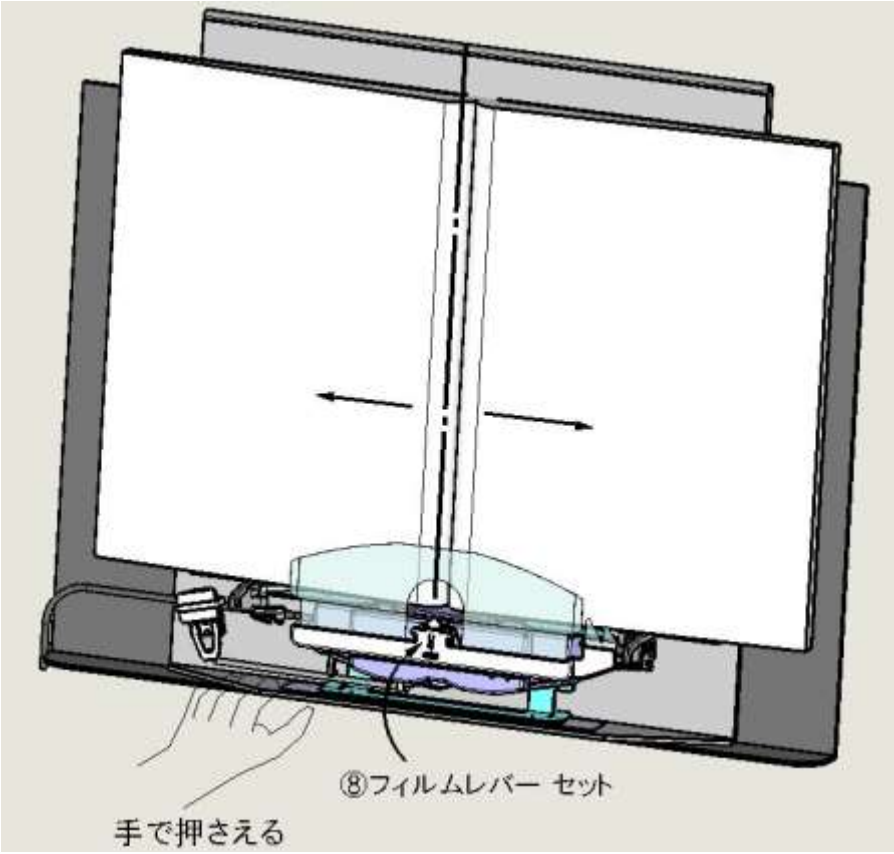
・固定レバーを閉じた状態（③⑥）。



・使いたい最初のページを開き（⑦）、フィルムレバーを下げてページを押さえます。

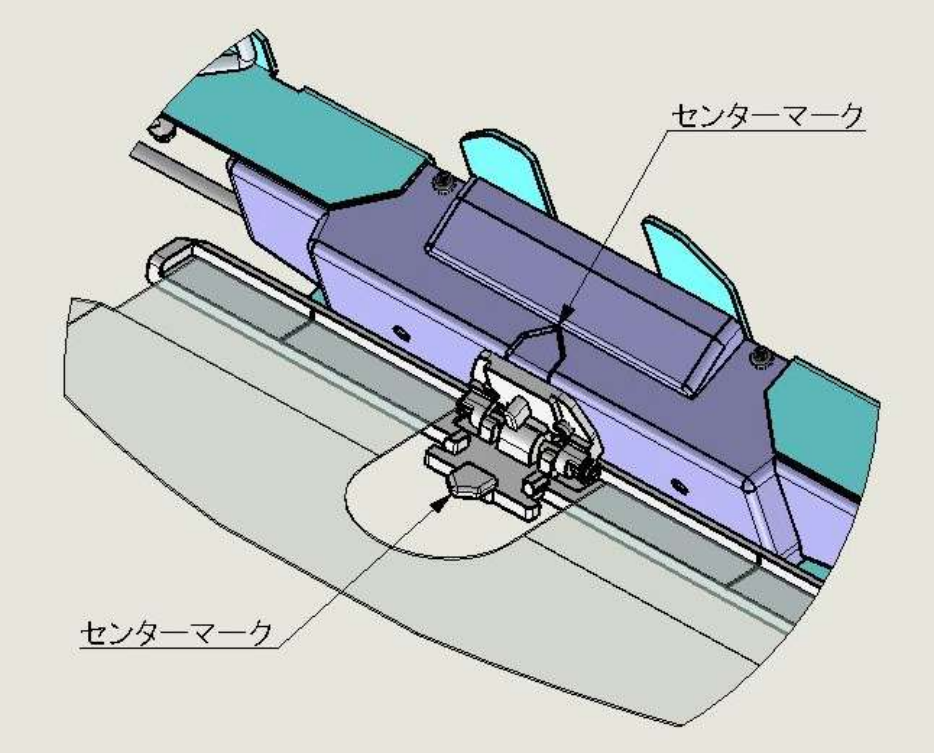


・楽譜の背表紙を掴んで左右に動かして、装置と楽譜のセンター合わせを行います。

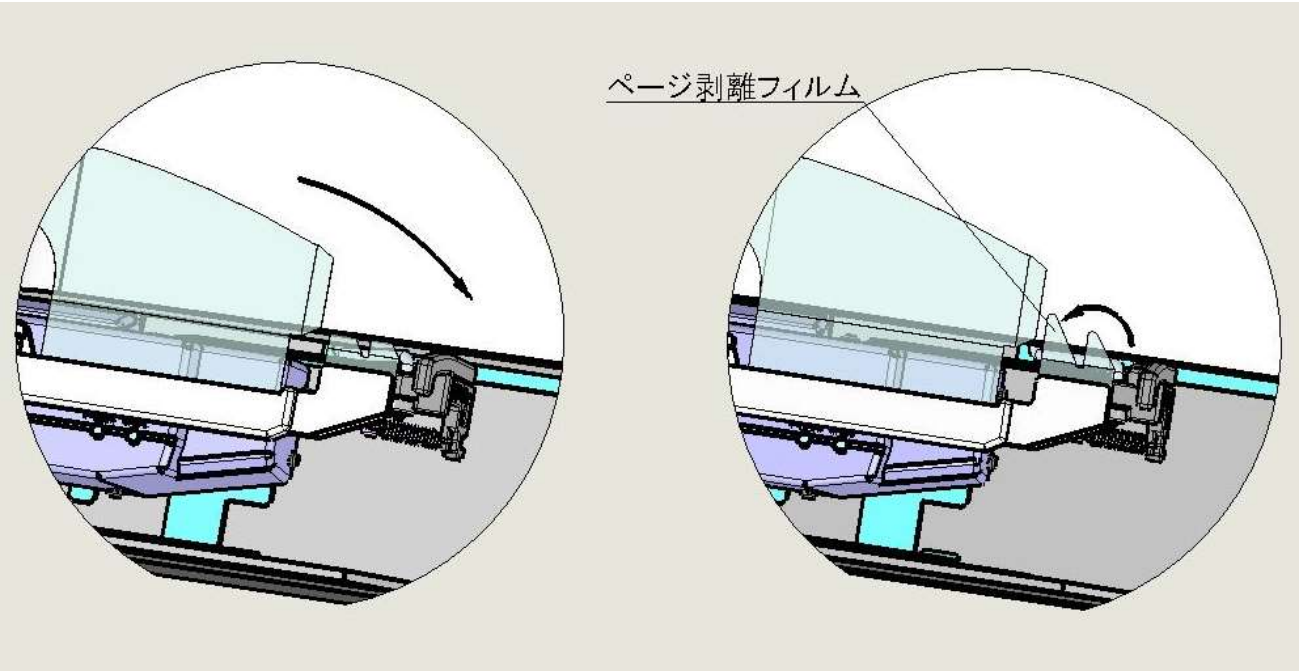


・調整し終わったらフィルムレバーを閉じて楽譜をセットしてください（⑧）。
・本体や譜面立てが倒れたり動いたりしないように片手で押さえながら、もう片方の手で作業をしてください。

・本体ケース及びフィルムレバーにあるセンターマークを目安にして楽譜の位置合わせを行ってください。

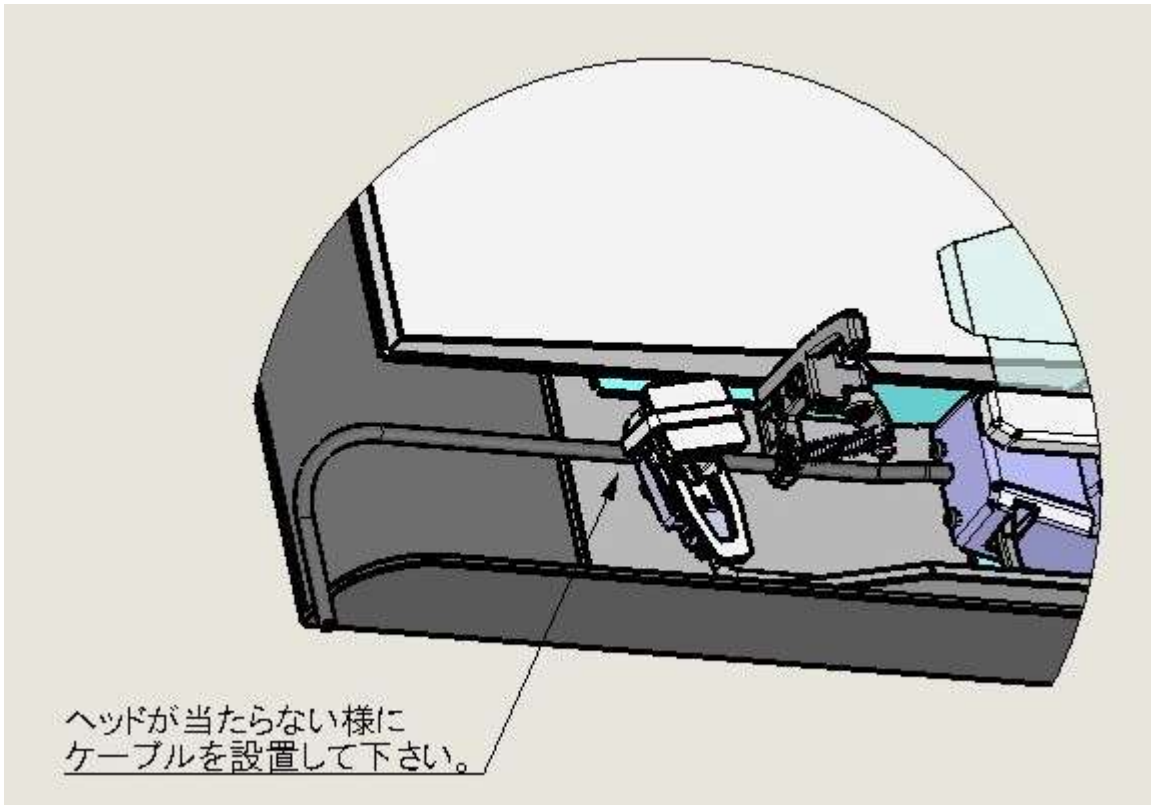


・手動でページを戻した時は、ページ剥離フィルムの下までページを押し込んでください。

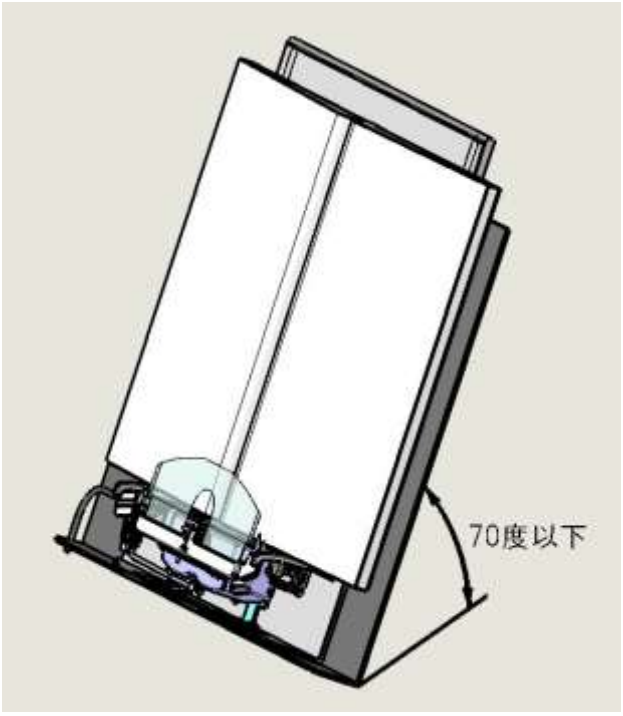


・ページ剥離フィルムは重ねてページをめくることを防ぐ機能があります。

・コントローラのケーブルは粘着ヘッドの裏側に配線し、ケーブルガ干渉しないようにしてください。（必用に応じてテープ等で固定してご使用下さい。）

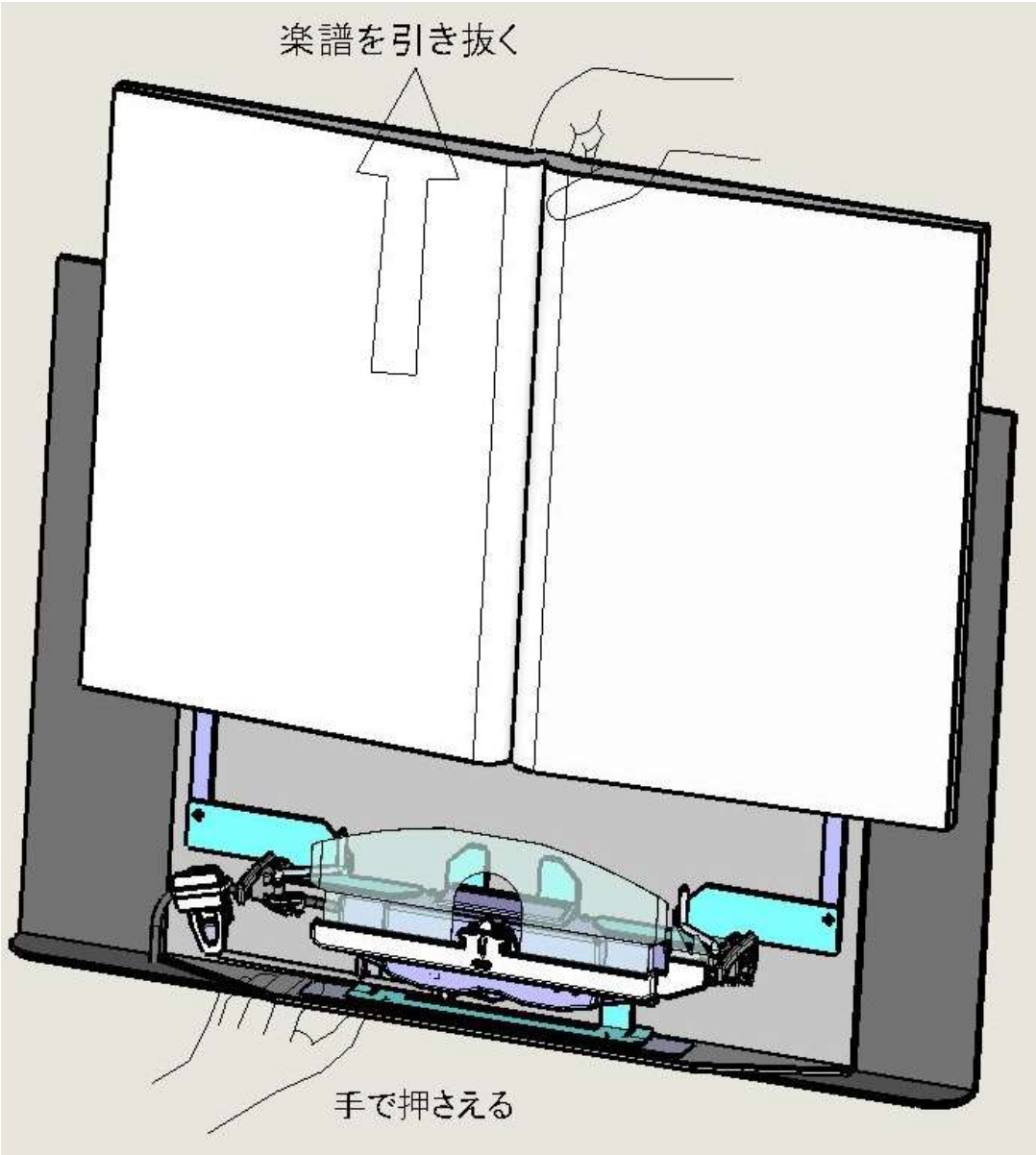


※ヘッドはある高さで止まっていますので、ケーブルが持ち上がってヘッドと当たらない様にフラットな状態で配線して下さい。



・譜面台の角度は 70 度以下でご使用ください。

・楽譜を交換する際は、本体を片手で抑えてもう片方の手で楽譜を掴んで上方向にゆっくりと引き抜いてください。



※楽譜交換の際に本装置が倒れない様に注意して行って下さい。

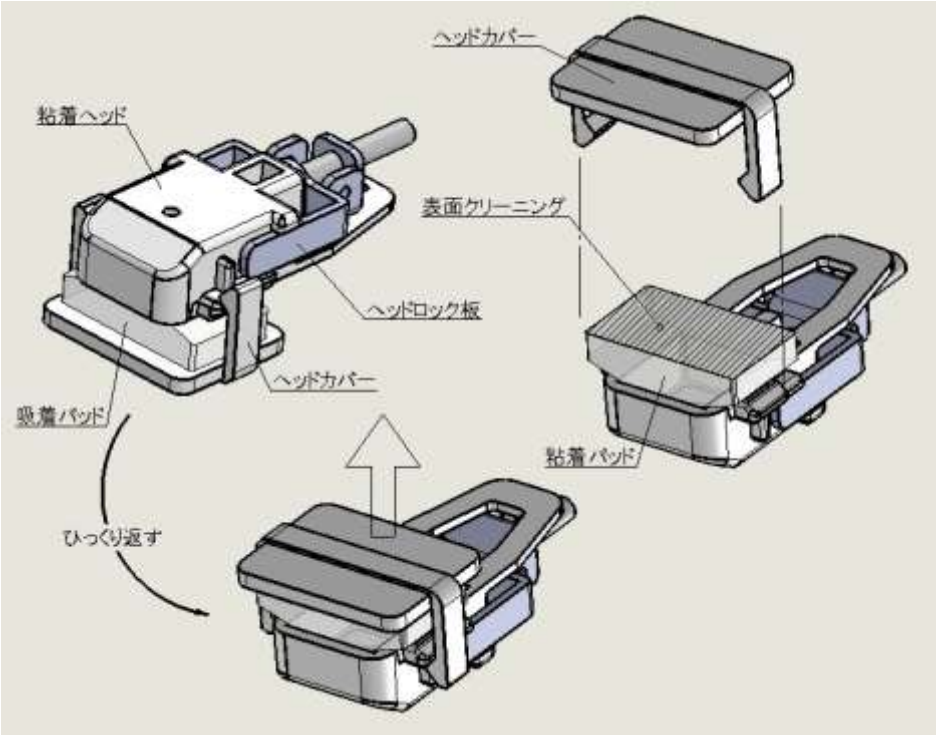
・フィルム押さえレバー，楽譜固定レバー　を解除しなくても楽譜は引き抜くことが出来ます。（解除して楽譜を外してもらっても問題ありません。）

※弊社ホームページ“自動楽譜めくり機「Doremi-Flipper 」セットアップ方法”をご覧ください。

8. 粘着ヘッドの準備とクリーニング

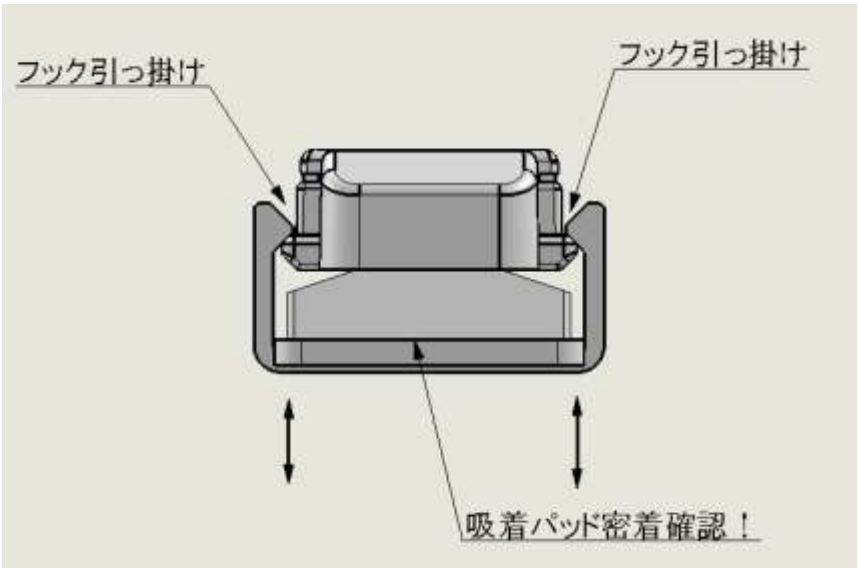
8- a　ヘッドカバー着脱方法

・ヘッドカバーを矢印の方向に引っ張るとサイドのフックが外れカバーが外れます。

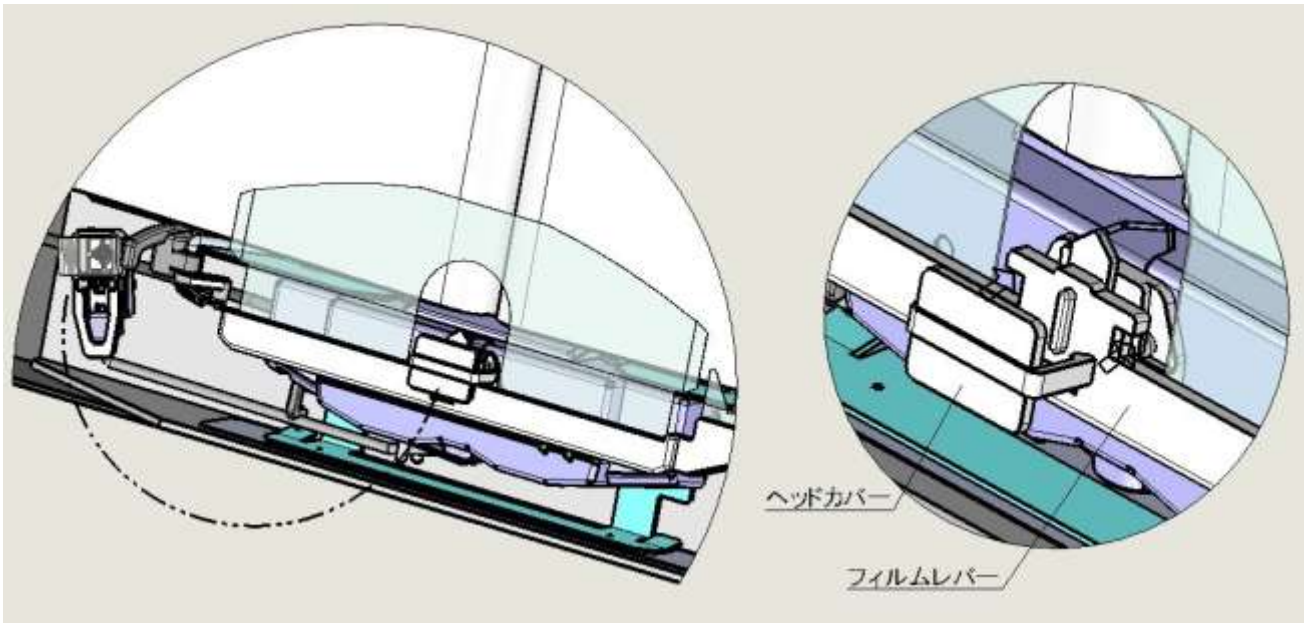


・ヘッドカバーを外す時に、粘着パッドがヘッドカバーに強力に貼り付いている場合がありますので、その時はゆっくりとヘッドカバーを引き剥がしてください。
無理に引っ張りますと粘着パッドが剥がれてしまう恐れがあります。

・カバーを外したら、吸着パッド表面をクラフトテープ等でクリーニングして下さい。　**※吸着面を直接手で触らない様に注意してください！**



・使用後は吸着パッドにカバーを密着させながら左右のフックがカッチとはまるまで押し込んでください。使用後は必ずカバーをして保管して下さい。



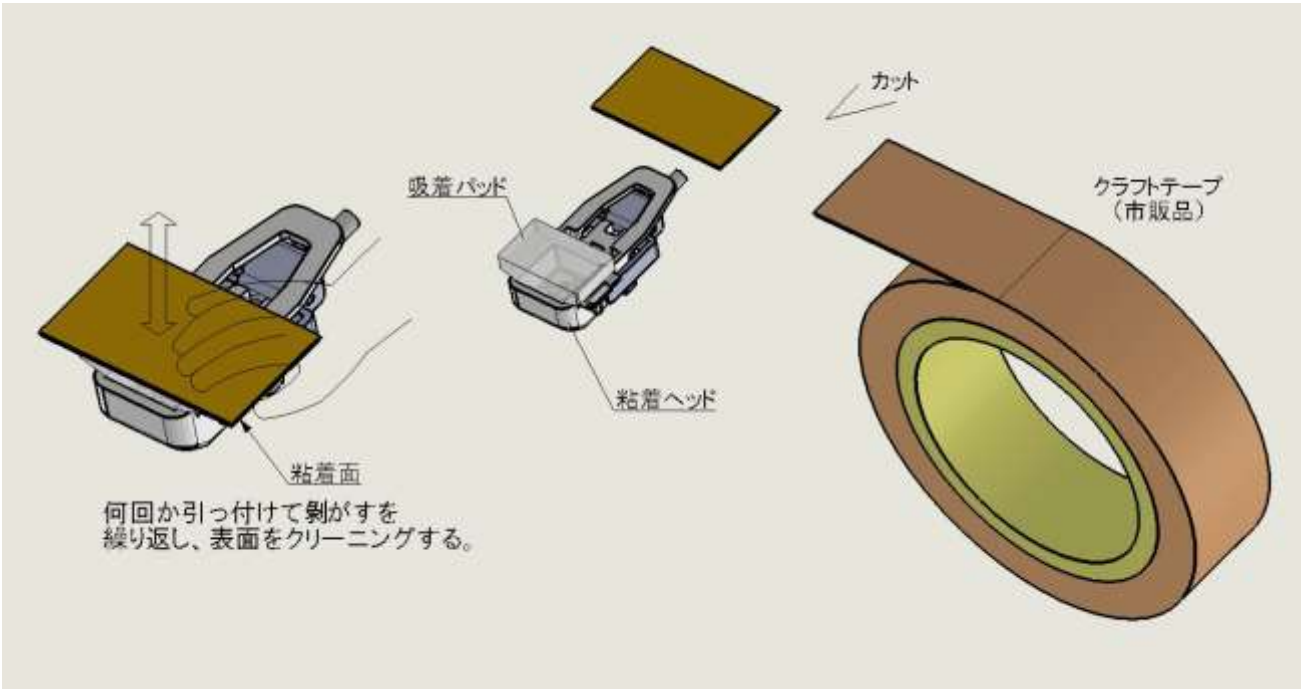
※外したヘッドカバーはフィルムレバーの中央部にはめ込んで保管して下さい。

8-ｂ　ヘッドクリーニング方法

※粘着ヘッドに紙粉、ホコリが付くと粘着力が低下します。定期的にクリーニングしてご使用ください。

・市販のクラフトテープをカットして、粘着パッドの粘着面にテープを貼り付け、その後に引き剥がす、といった動作を数回繰り返してください。

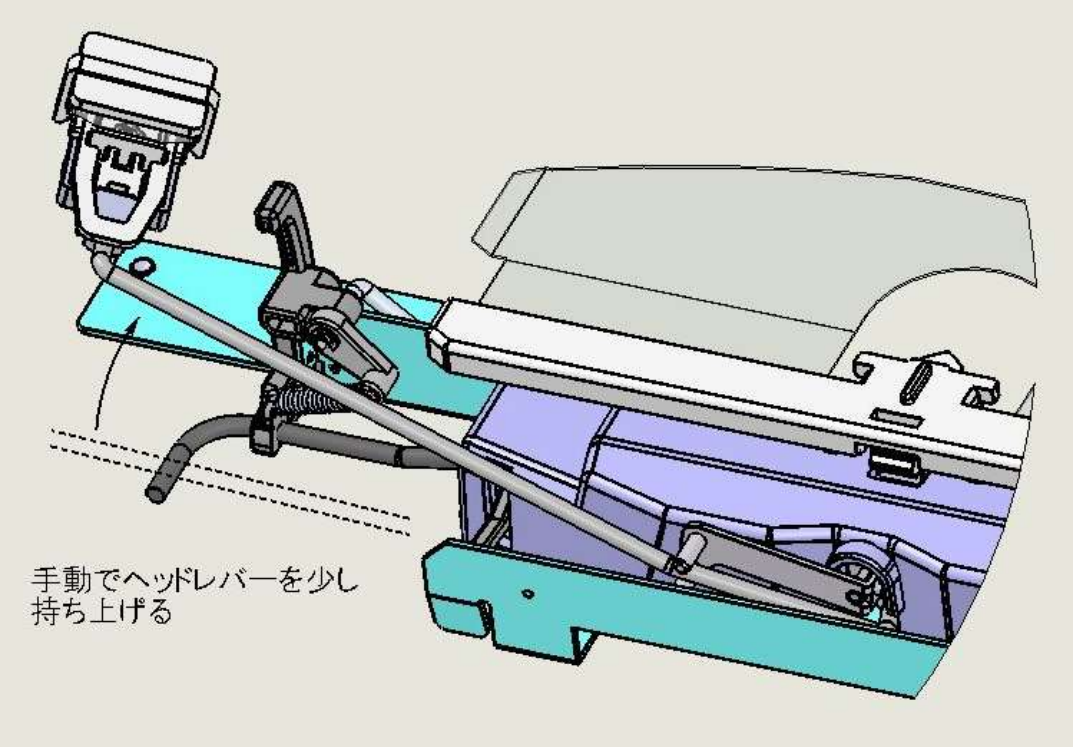
・使用前、使用後に行うと効果的です。



・本ヘッドは消耗品ですので、使っているうちに徐々に性能が劣化してきます。
性能著しく劣化してきましたら早めに新しい物を購入し交換してお使いください。

8-c　粘着ヘッドの交換方法

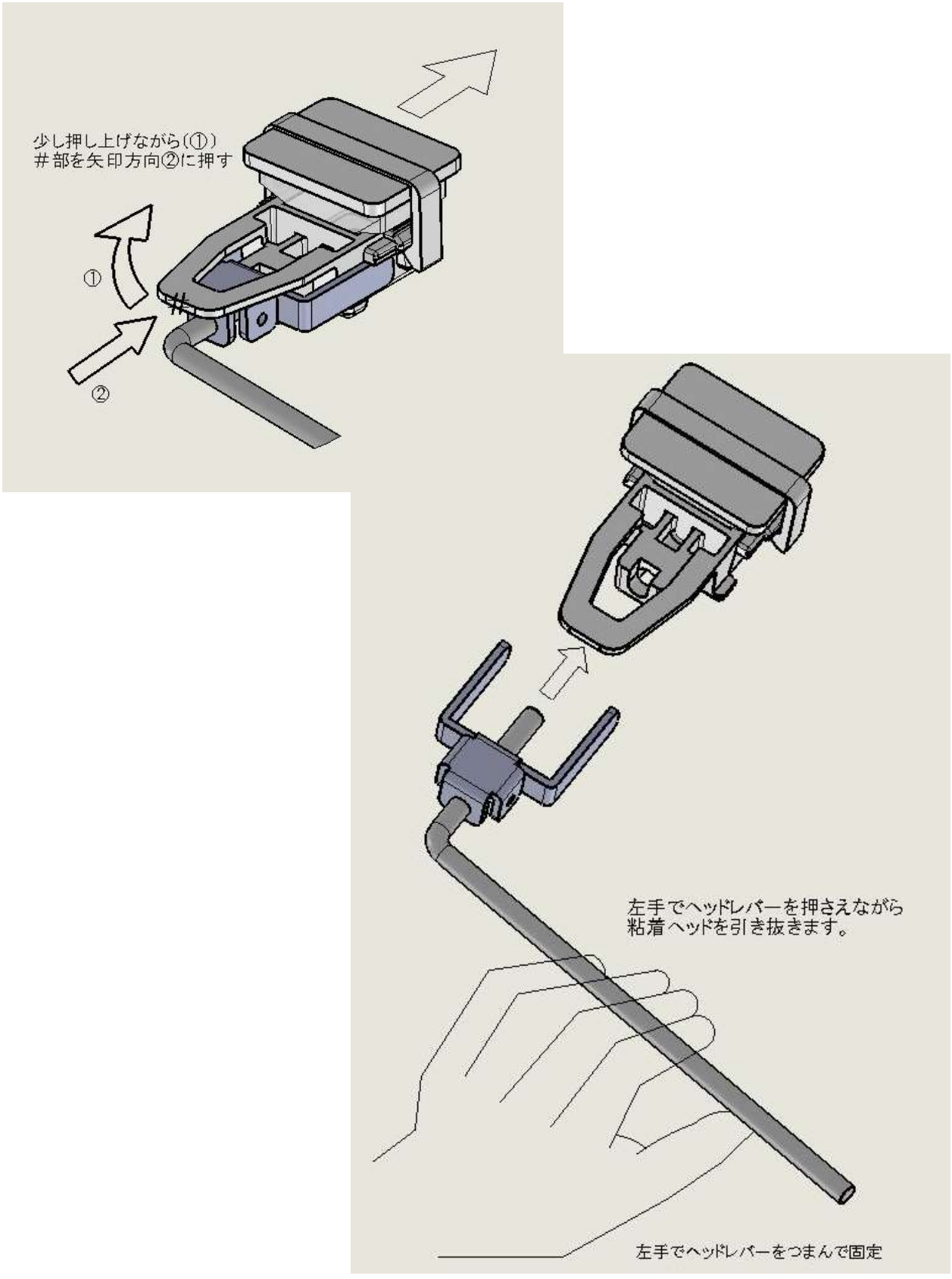
・粘着ヘッド交換時は必ず電源 OFF の状態で行ってください。
・手動でヘッドレバーをつまんで少し持ち上げて、粘着ヘッドを交換しやすい位置に移動させて作業を行ってください。
・作業時は譜面台からの本装置の落下にご注意ください。



・購入時には粘着ヘッド M が付いた状態で届きます
・楽譜をセットして 1 ページめくってみて、剥がれ難いと感じたら⇒粘着ヘッド S に途中で剥がれてしまう様なら⇒粘着ヘッド L、(強) に交換してご使用ください。
（8-d　ヘッドサイズの選定方法　参照）

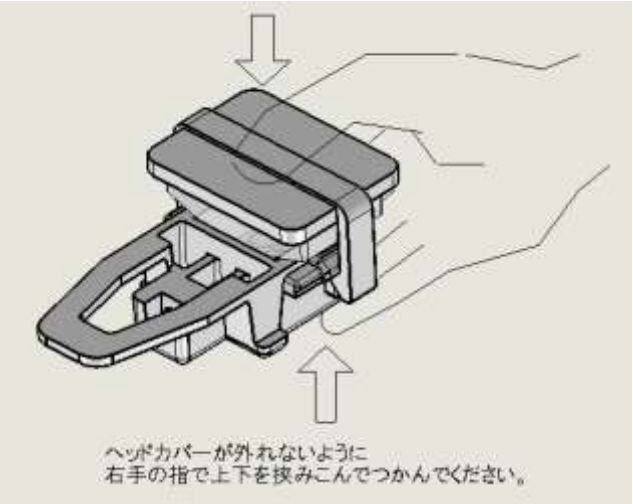
8-c-1 粘着ヘッド引き抜き方法

・粘着ヘッドの御尻部（＃）を少し押し上げながら押してヘッドを引き抜きます。
・粘着ヘッドを引く抜く時は、左手でヘッドレバーを押さえながら行ってください。

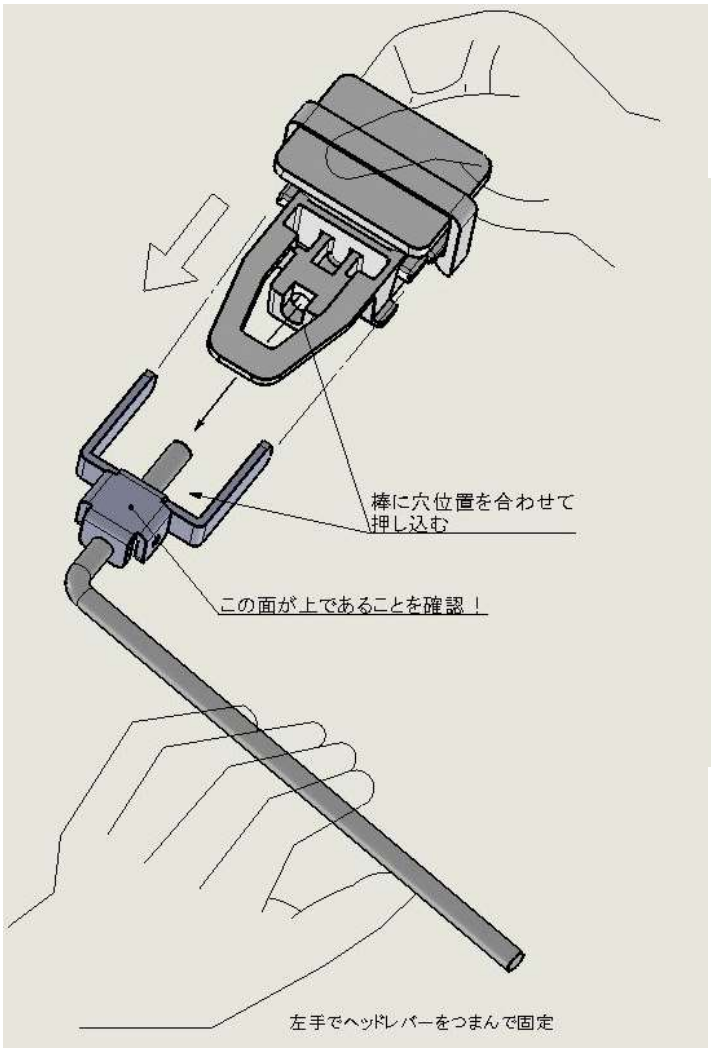


8-c-2 粘着ヘッド装着（差し込み）方法

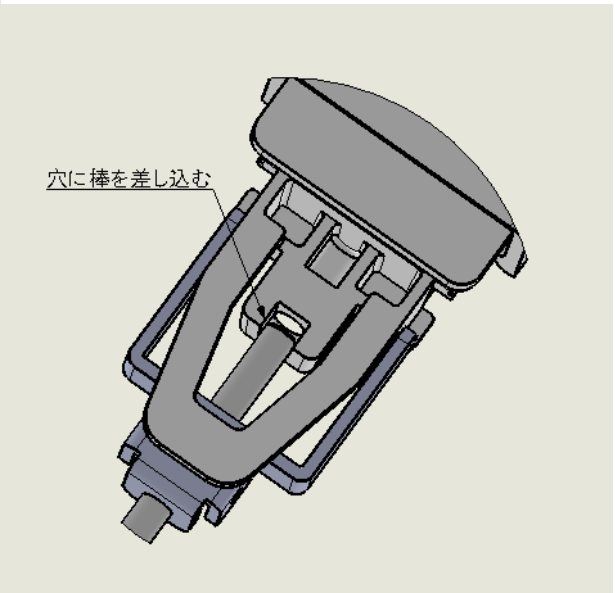
・粘着ヘッドを差し込む時は、ヘッドカバーが外れない様に右手の指で上下を挟み込んでつかんで作業してください。



・差し込む時は棒に穴位置を合わせまがら奥までしっかりと押し込みます。



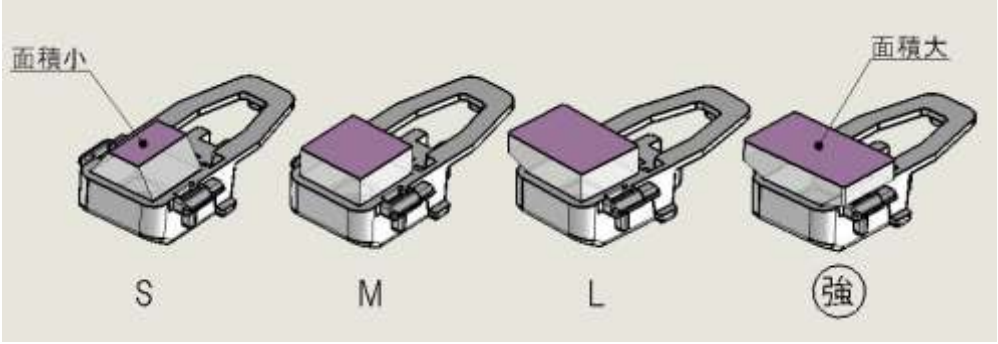
・左手でヘッドシャフトをつまんで固定して作業を行ってください。

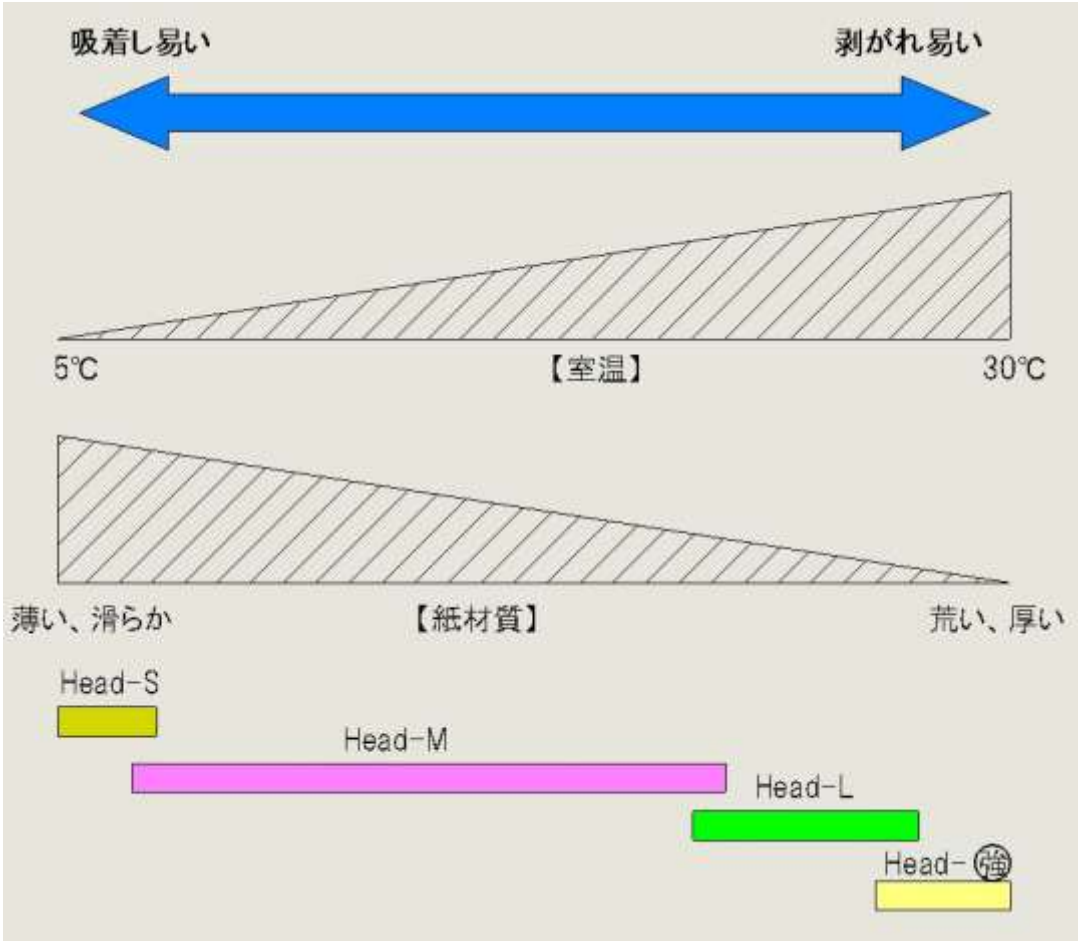


※ヘッドロック板の形状を確認して、ヘッドの向きを間違えないように装着して下さい。

8-d　ヘッドサイズの選定方法

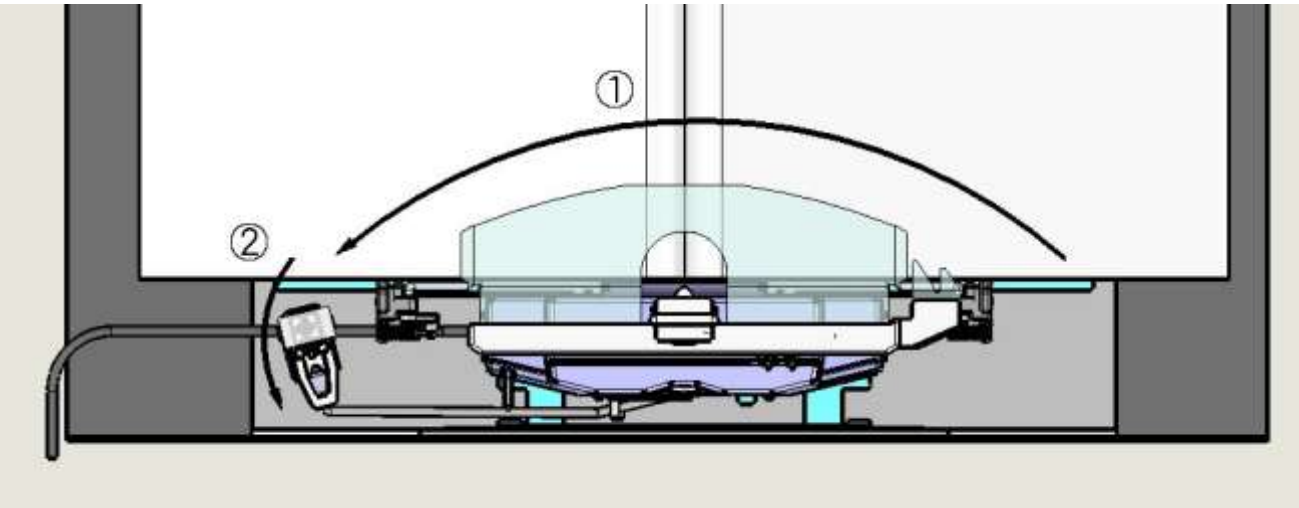
・本装置には、吸着力の異なる 4 種類のヘッドが付属しています。
・粘着ヘッドに貼られたシールの S ⇒ M ⇒ L ⇒(強)の順に吸着力が強くなります。
・表面が粗い厚い紙は吸着し難く、滑らかな上質紙は吸着し易くなります。
・同じ紙質でも、周囲の環境温度（室温）によっても吸着力が変わります。
　温度が高くなると吸着力は低下いたします。
・吸着力が弱いと上手くページがめくれません。また、吸着力が強すぎますとページからヘッドを剥離することが難しくなり、紙の劣化も早めます。
・同じページで繰り返し粘着ヘッドを使用すると、ページの貼り付き面が徐々に劣化し粘着ヘッドが貼り付き難くなって行きます。
・室温と紙質を考慮して粘着ヘッドを適切に交換して御使用ください。





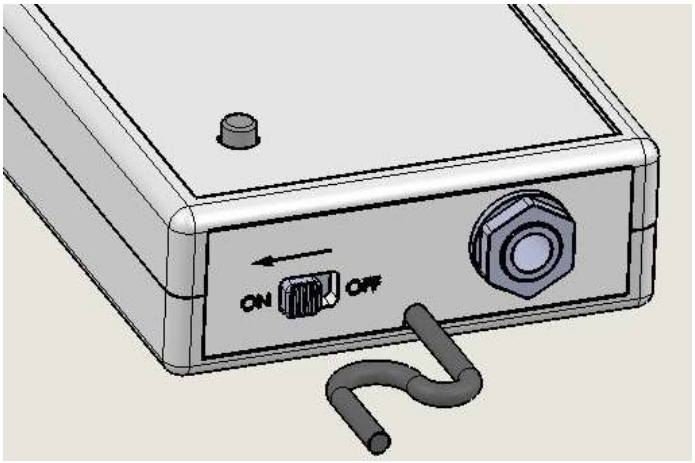
9. メイン電源投入

・電源スイッチ　ON ⇒　初期化動作をしてホーム位置にて停止（①⇒②）。

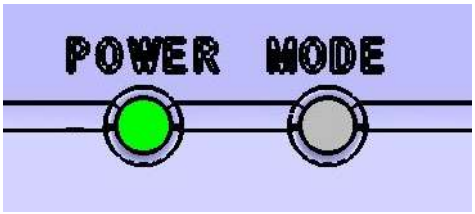


※初めからホーム位置に粘着ヘッドがある場合は、少し上下しただけで終了します。

コントローラの操作及び表示



電源スイッチ　OFF ⇒ ON



POWER LED　：点灯

MODE　LED　：点滅　⇒　消灯

※MODE LED が点滅し終わって消灯したら初期化終了です。

（MODE LED 点滅中は初期化動作中ですので、ご注意下さい。）

10. ページめくり動作

10-a ページめくり動作　一覧

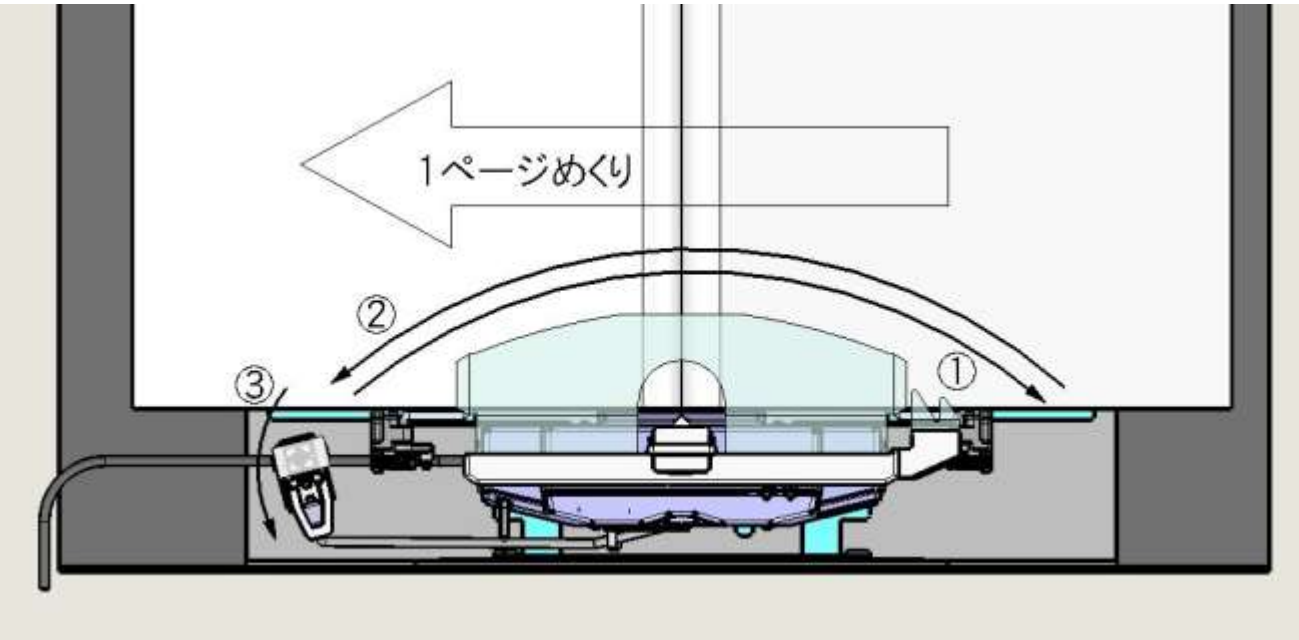
モード	標準モード	練習モード	
動　作	順送り	順送り	1ページ戻し （逆戻し） ※練習モードでのみ可能
用途	一般的なご使用に。 譜めくりを手動でも 行う場合。	反復練習に。 （1ページ戻しを行う場合）	反復練習に。
めくり時間 （操作ボタン押してからめくり終わるまで）	約2.5秒	約5秒	約1秒
操作方法	操作ボタンを短押し	練習モードへの切替： 操作ボタンを押しながら 電源スイッチON ⇒操作ボタンを短押し	操作ボタンを 3秒間長押し
めくった後の 粘着ヘッド待機状態	紙面から剥がされ フリーな状態で左側で待機 （ホームポジション）	紙面に貼付いた状態で 左側で待機	紙面に貼付いた状態で 右側で待機
手動での ページめくり	○	×	×

注 1）めくり時間とは操作ボタンを押してからめくり終わるまでの時間
（電池残量によっても変わって来ます。）

- 標準モードは実際の演奏に合わせてページめくりが可能なモードです。
1 ページめくり終わるのに約 2.5 秒かかります。
- 標準モードでは、次のページに行きたい少し前にボタンを押すと良いタイミングで
ページをめくることが出来ます。（どのタイミングが良いかは少し練習してください。）
- 標準モードでは 1 ページ戻し機能は使えません。
- 練習モードは 1 ページ戻しが可能なモードです。1 ページめくり終わるのに約 5 秒
かかります。新たに 1 ページめくる動作は標準モードより時間がかかりますが、
反復練習等に役立つモードです。（1 ページ戻しは約 1 秒で戻し終わり）

10-b 標準モード　順めくり

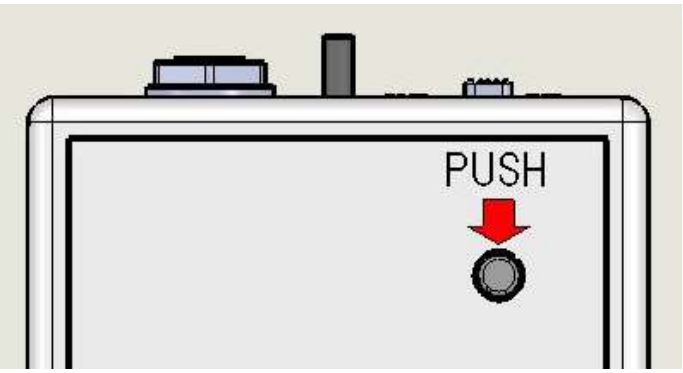
・メイン電源投入後、操作ボタンを 1 回押す　⇒　1 ページだけめくり、ホーム位置で粘着ヘッド待機　（①⇒②⇒③）。



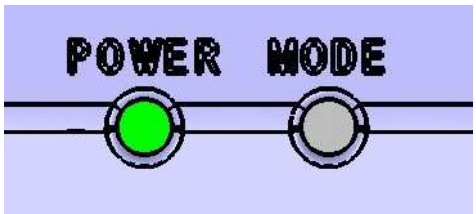
・1 ページめくり終わるまでの動作時間：約 2.5 秒

・次のページに行きたい少し前のタイミングに操作ボタンを押してください。

コントローラの操作及び表示



操作ボタン　1 回押し（短押し）



POWER LED　：点灯

MODE　LED　：点滅　⇒　消灯

※MODE LED が点滅し終わって消灯したらページ捲り終了です。

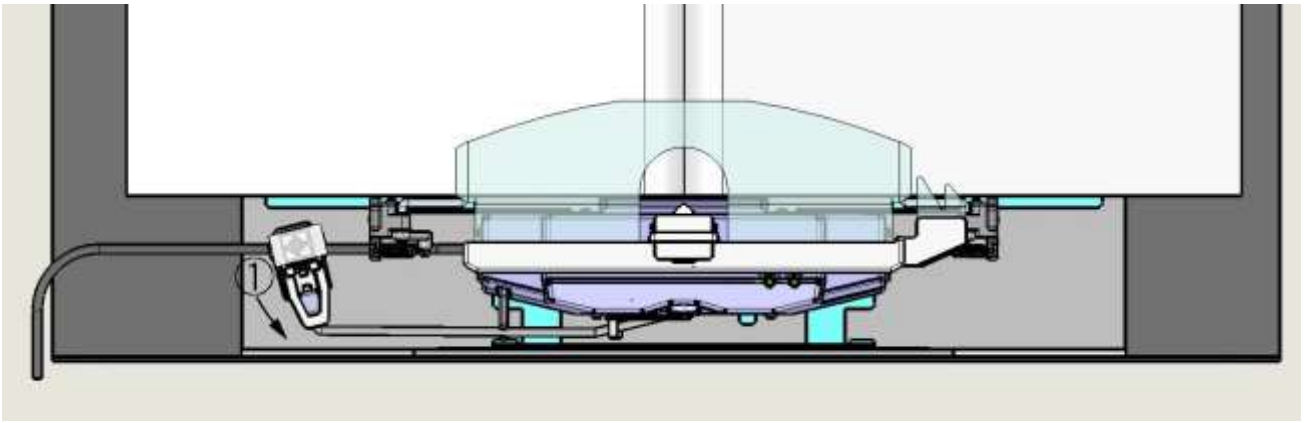
（MODE LED 点滅中は捲り動作中ですので、ご注意ください。）

10-c 練習モード

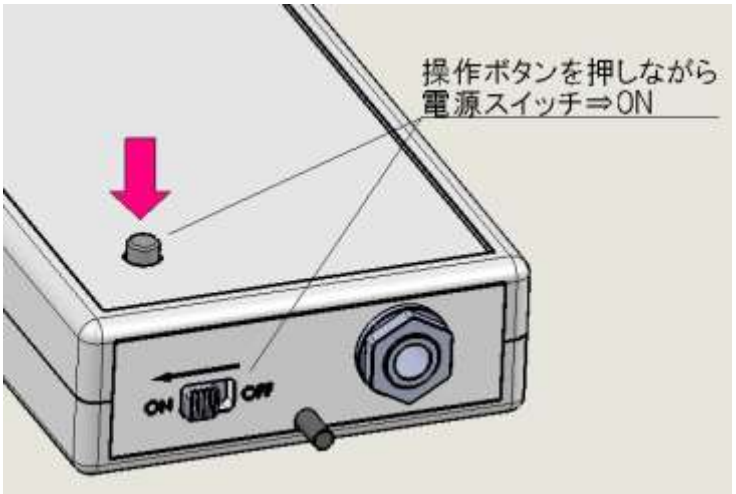
※練習モード設定を行うには一旦電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
（通常の電源投入後にものモードに入ることは出来ません。）

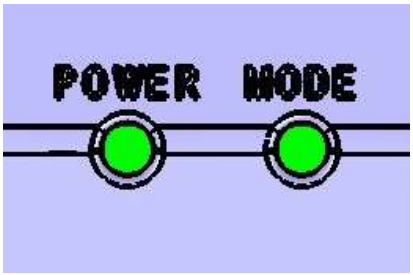
10-c-1 練習モード設定　（１ページ戻し機能が使えるモード）

・操作ボタンを押しながら電源スイッチを ON にすると練習モードに入ります。
・モードに入ると粘着ヘッドが少しだけ下側に動き（①）両方の LED が点灯します。



コントローラの操作及び表示





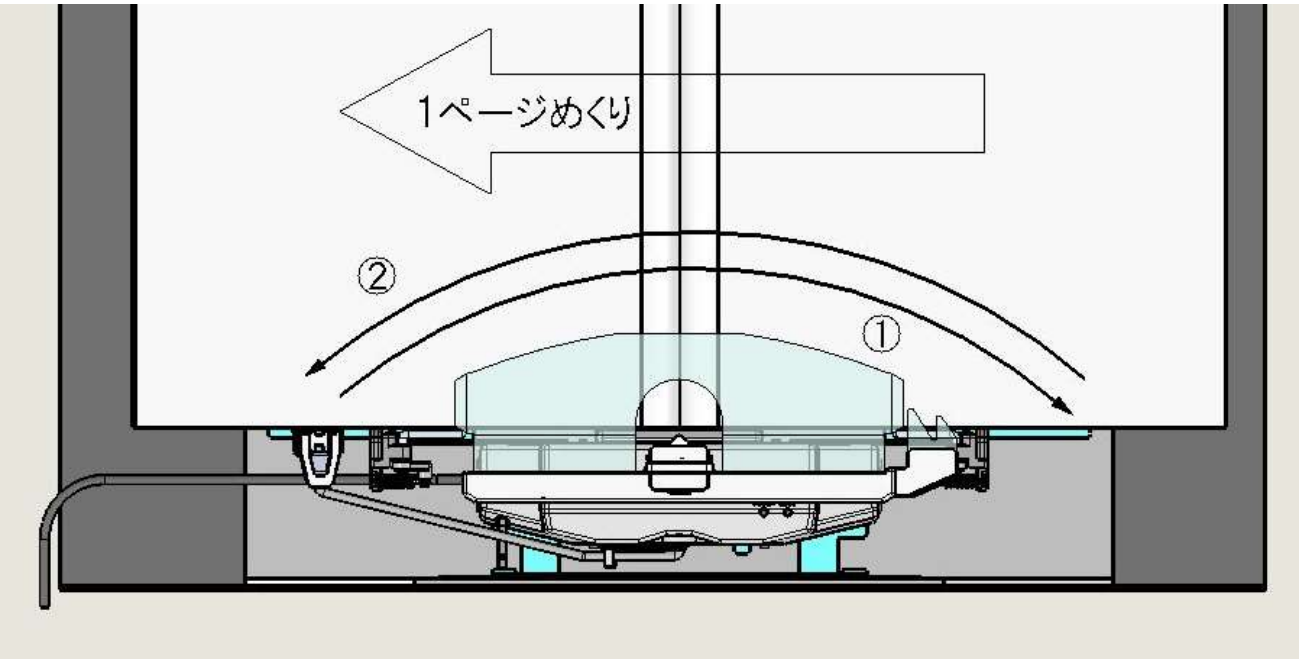
両方の LED が点灯

POWER LED　：点灯
MODE　LED　：点滅　⇒　点灯

※MODE LED の点滅が終了して点灯に変わったらモード設定終了です。
（MODE LED 点滅中は設定中ですので、ご注意ください。）
※待機中に両方の LED が点灯している場合は、練習モードです。

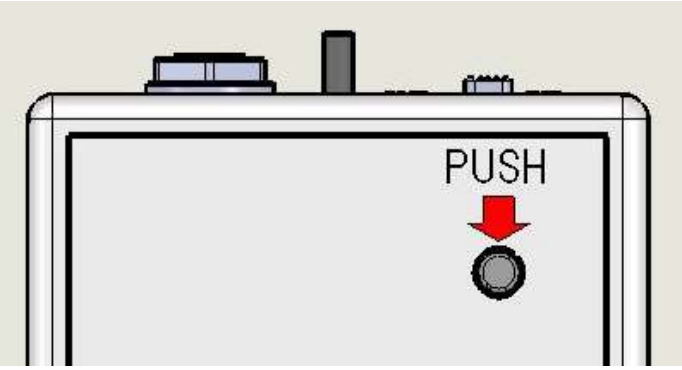
10-c-2 練習モード　順めくり

・操作ボタンを１回押す　⇒　１ページだけめくり、めくったページの下（左側）でヘッド待機（①⇒②）。

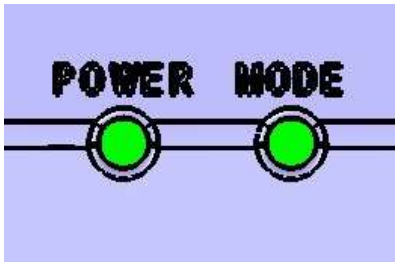


・１ページめくり終わるまでの動作時間：約 5 秒

コントローラの操作及び表示



操作ボタン　１回押し（短押し）



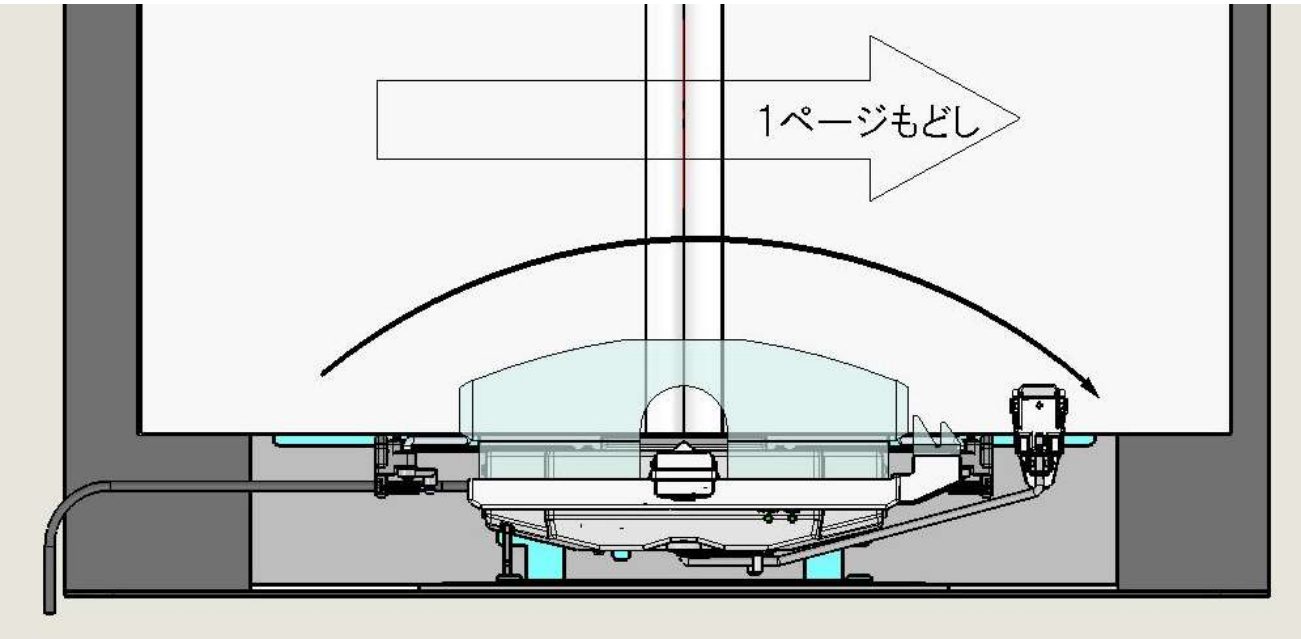
POWER LED　：点灯
MODE　LED　：点滅　⇒　点灯

※MODE LED の点滅が終了して点灯に変わったらページ捲り終了です。
（MODE LED 点滅中は捲り動作中ですので、ご注意ください。）

10-c-3 1 ページ　もどし

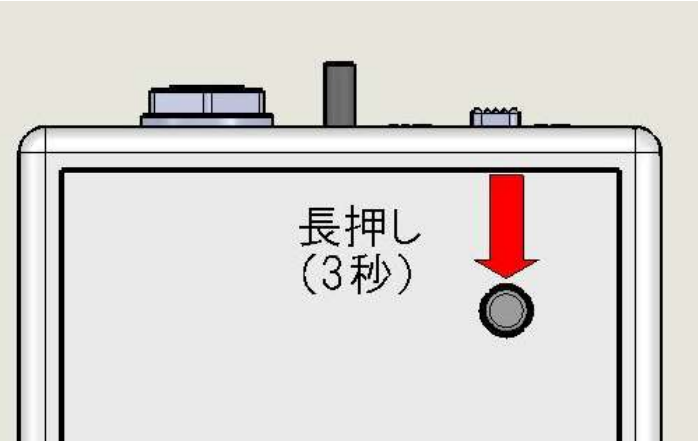
・操作ボタンを長押し（約 3 秒）　⇒　1 ページもどしてもどしたページの上（右側）で粘着ヘッドは待機。

※めくった 1 ページのみ戻すことが出来ます。

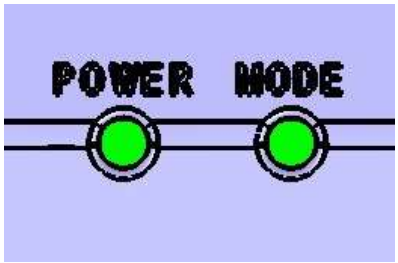


・1 ページもどし終わるまでの動作時間：約 1 秒

コントローラの操作及び表示



操作ボタン　長押し（3 秒）



POWER LED　：点灯

MODE　LED　：点滅　⇒　点灯

※MODE LED が点滅が終了して点灯に変わったらページもどし終了です。

（MODE LED 点滅中は捲り動作中ですので、ご注意ください。）

※ページ戻し動作前に粘着ヘッドがページから剥がれてしまい、上手く戻せない場合があります。その時はヘッドをホーム位置に戻してから手動でページを戻してください。

10-c-4 1 ページ　戻し後の　ページ捲り

・10-c-2 練習モード順めくりと同じ操作を行って下さい。　（操作ボタン　短押し)）

10-c-5 練習モードの終了

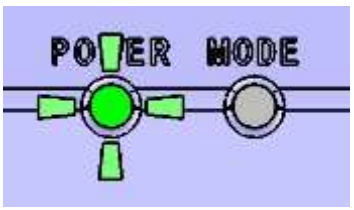
・電源スイッチを切るとモード終了となります。
・粘着ヘッドが左側で、めくったページに吸着したままの状態なので、手動で粘着ヘッドを剥離してホーム位置に戻すか、再度電源を投入して初期化してホーム位置に戻してください。(14-a,b)

《ページめくりを安定して行うポイント》

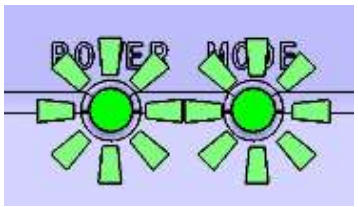
・めくり動作を行っていくと、楽譜のページが浮いて来ます。ページが浮いて来たら、手でページを押さえてフラットな状態に修正してください。
・厚い楽譜でめくり動作を行っていくと、楽譜のセンターが徐々にズレて行きます。センター位置がズレてきたら楽譜位置を調整してください。(P14~15)
・十分な折りぐせがついていない楽譜は上手くめくれません。めくりが不安定な場合は再度折りぐせをつけてください。
・譜面台の角度が立ってくるとページが浮きやすくなりめくりが不安定になります。譜面台の角度を寝かせるか、サービス品の上部ページ押さえフィルムを併用してみてください。
・同じ楽譜の中でも、楽譜の前半、後半で粘着ヘッドの貼り付き方が異なります。また室温の変化でも貼り付き方が変わって来ます。状況に応じて適した粘着ヘッドを選択してご使用ください。(P23)

11.　Low Battery　表示　（電池容量低下警告）

・電池容量が少なくなると、Power LED がゆっくり点滅して御知らせします。この表示がでましたら早めに電池交換を御願いします。



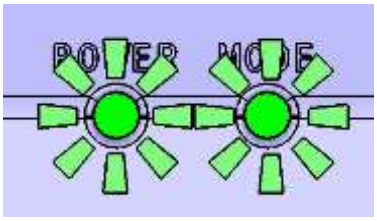
・Low Battery 表示後もそのまま使い続けますと、両方の LED が点滅してエラー表示となり STOP します。



12.　エラー　表示、　解除方法

・両方の LED が点滅している場合は、エラー状態ですので、一旦電源スイッチを OFF にして､エラー状態を解除(ページ等が挟まっている場合は取り除いてください。)し、再度電源スイッチを ON にしてください。

※両方の LED が点滅 ⇒ エラー状態



※エラー解除方法　⇒電源スイッチの入れ直しによるリセット。

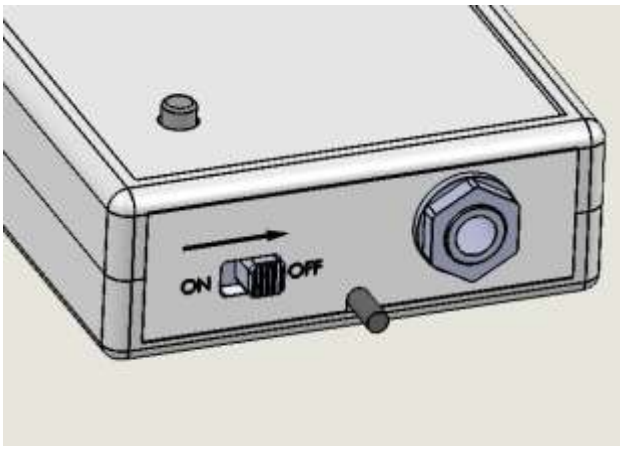
・エラー状態を解除して電源スイッチを ON にした後、未だエラー点滅をしている場合は、電池切れの可能性がありますので、電池交換をして再度電源スイッチを入れ直して確認してください。

・電池交換してもエラー点滅をしている場合は、故障の可能性がありますので、弊社修理受付フォームからお問合せください。

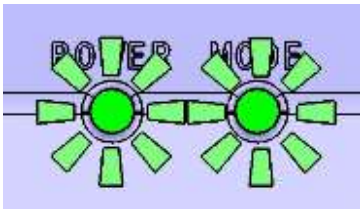
13.　20 分タイマー機能

・練習モードで使っている時の保護機能として、モード設定後、20 分間、操作ボタンが押されなかった場合、自動的にホームポジションにヘッドを戻し待機する機能を搭載しています。

・20 分タイマー機能が働くと、ホームポジションでエラー表示にて待機しているので、その後に操作ボタンを押しても装置は動きません。一旦電源を OFF にして終了にするか、または電源を入れ直して次の操作を行ってください。



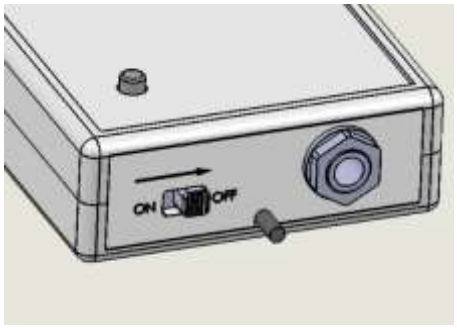
電源スイッチを OFF にして解除



両方の LED が点滅して表示

※標準モードには 20 分タイマー機能はありません。

14.　電源　OFF

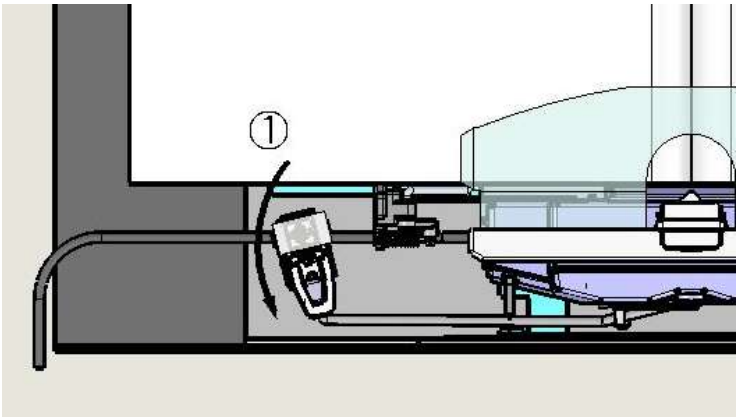


・使い終わりましたら電源スイッチを OFF にして
　電源を落としてください。
・電源 OFF 時の粘着ヘッドの位置は 3 種類あります。
　①ホーム位置に戻って待機
　②左側のページの下で待機
　③それ以外の位置での待機
・②③の場合は次の説明書の指示書に従って粘着ヘッドをホーム位置にもどしてから
　終了にしてください。その後、ヘッドカバーをして粘着面を保護してください。

14-a 手動でヘッドをホーム位置に戻す方法

14-a-1　電源 OFF 時、ヘッドが左側のページの下で待機していた場合

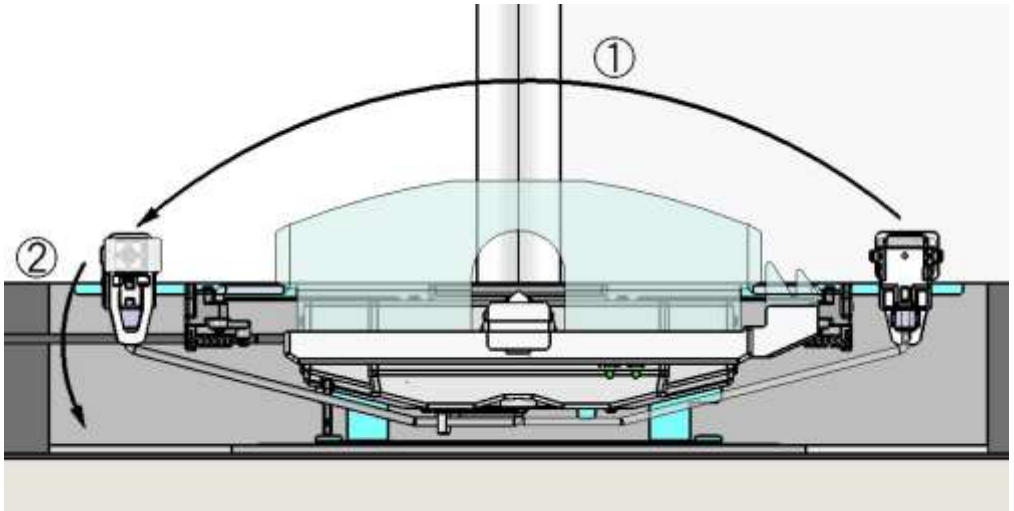
・電源を OFF にしたらヘッドを下側に下ろしページからヘッドを手動で剥がして
　ヘッドをホームポジションに戻して下さい。



14-a-2　電源 OFF 時、ヘッドが右側もしくは途中で止まっていた場合

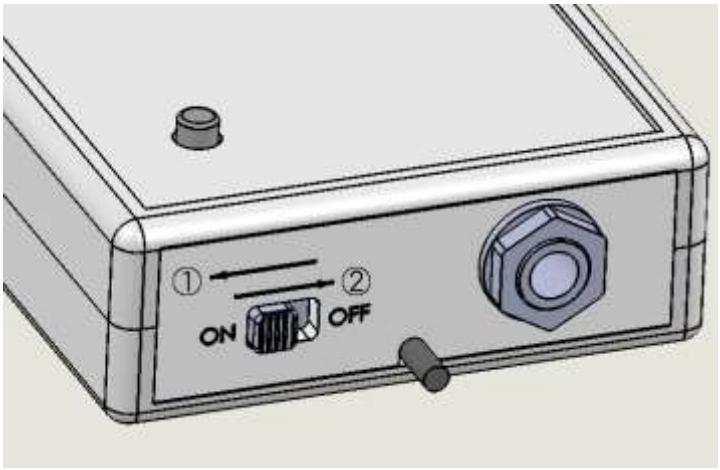
・電源を OFF にしたら手動でゆっくりとヘッドを左側に移動させて、その後
　下側に下ろしてヘッドをホームポジションに戻して下さい（①⇒②）。

※手動でヘッドレバーを戻す際に下側に強引に引っ張って戻しますと譜面立て等に
　レバーが干渉して傷つける恐れがありますので、ゆっくりとお戻し下さい。



14-b 電源リセットでヘッドをホーム位置に戻す方法

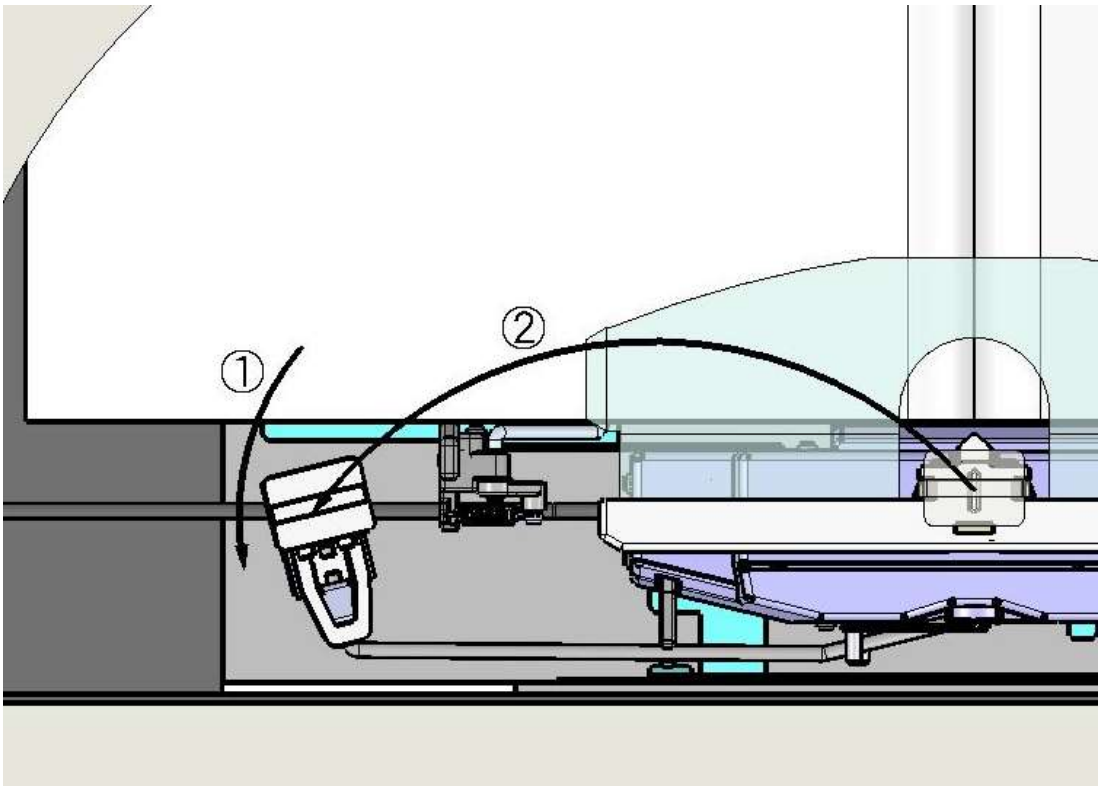
・電源をリセットする方法でもヘッドをホーム位置に戻せます。
（粘着ヘッドはどの位置に居ても構いません。）



※電源スイッチ OFF 後、再度 ON に入れ直し、MODE_LED の消灯を確認してから
電源を OFF してください。（ヘッドがホーム位置にいるか確認）

14-c ヘッドガバーを粘着ヘッドにセット

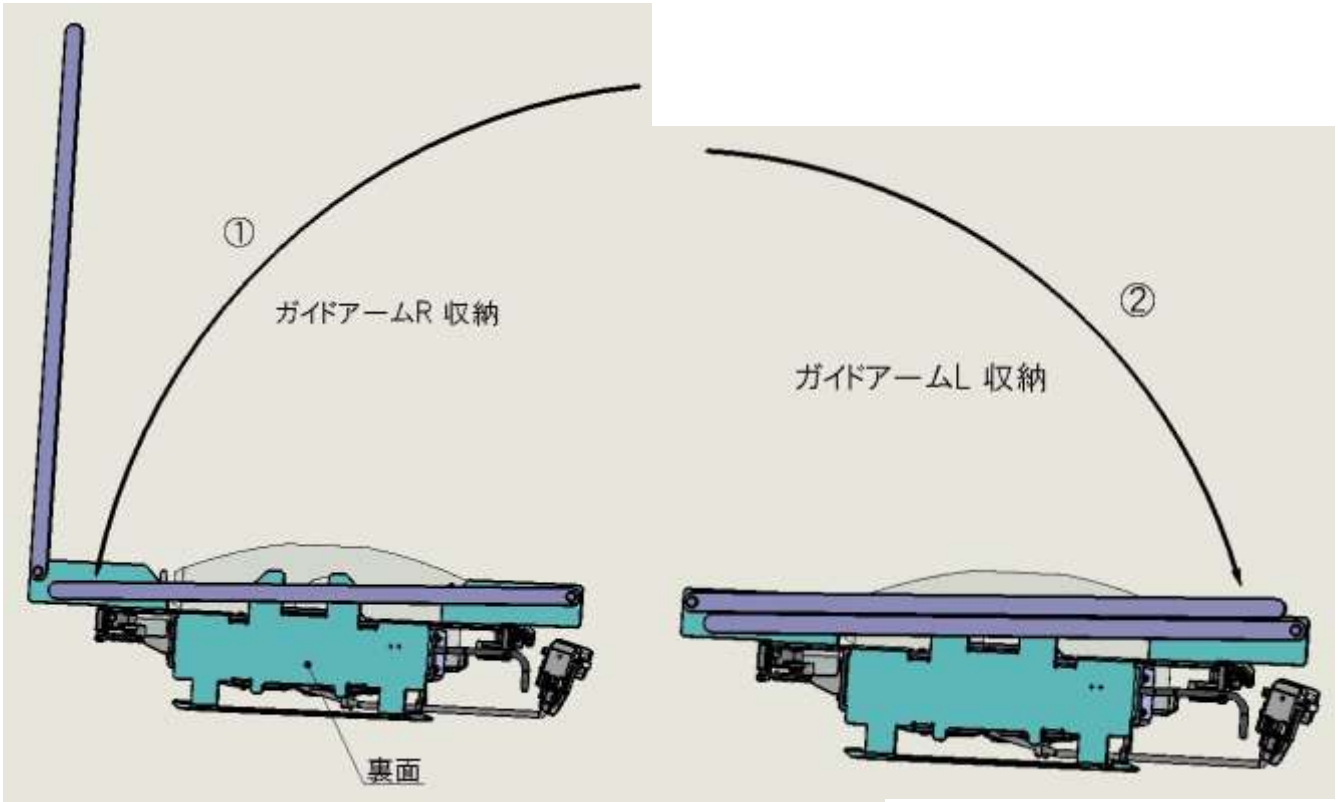
・粘着ヘッドを上記の方法でホーム位置にもどしてから（①）、ヘッドカバーを
セットして粘着パッド表面を保護して下さい（②）。
（8-a ヘッドカバー着脱方法　参照）

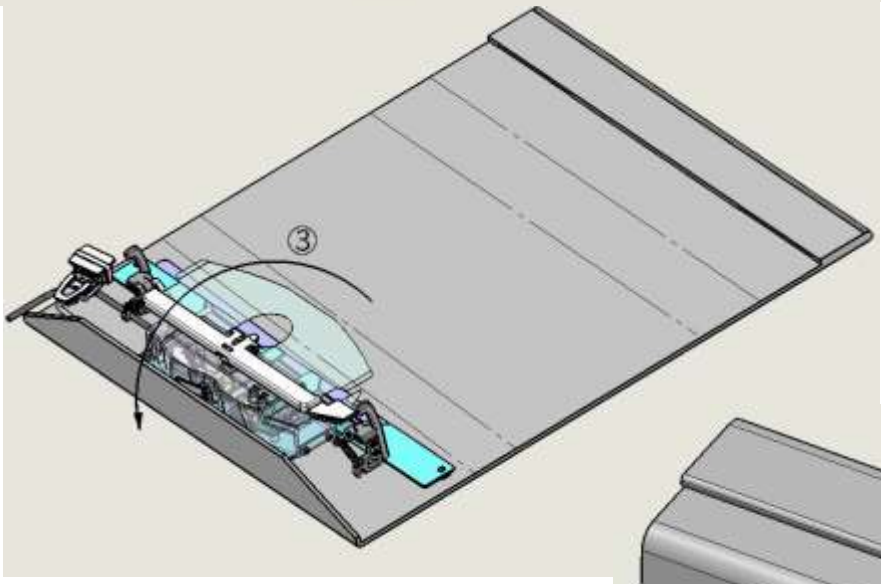


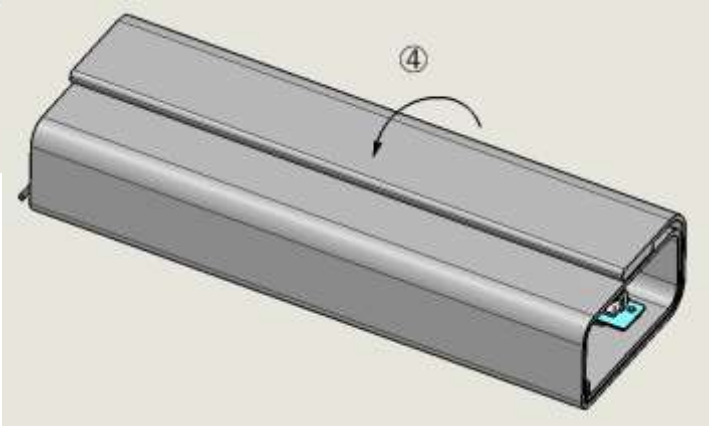
※長期間ヘッドをページに貼り付けて置きますと、油分が紙に付着する恐れがあります。

15.　収納，移動時

・保護カバーからガイドアームを外します。保護カバー側を軽く引っ張ってガイドアームから外してください。その後、ガイドアーム（L,R）を本体裏に収納して（①⇒②）保護カバーを巻きつけて下さい（③⇒④）。（ゆっくりと丁寧に行ってください。）







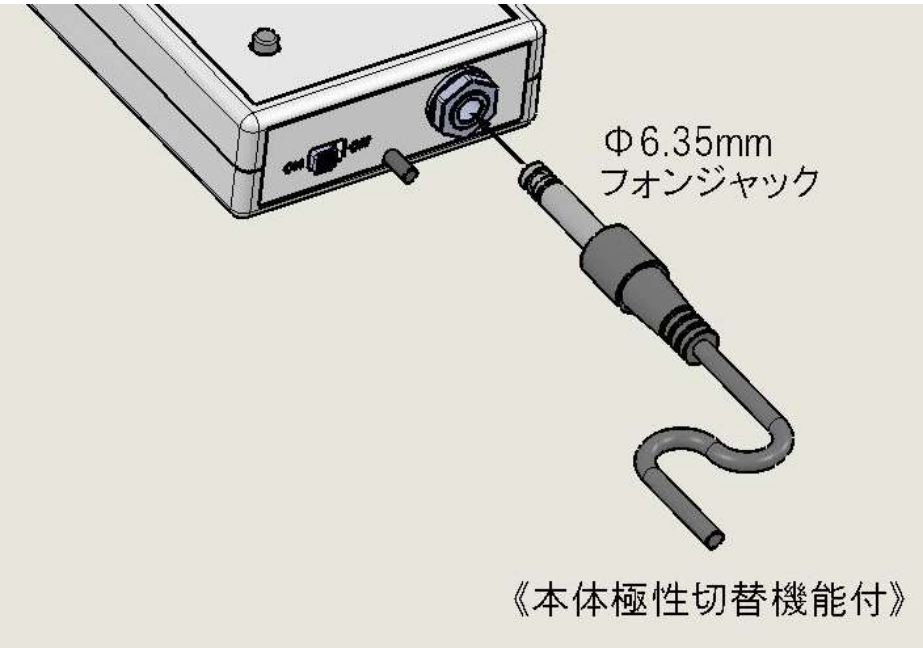
※移動時の製品の落下にはご注意下さい。

16.　フットスイッチ　接続方法　（本製品には同梱されておりません。）

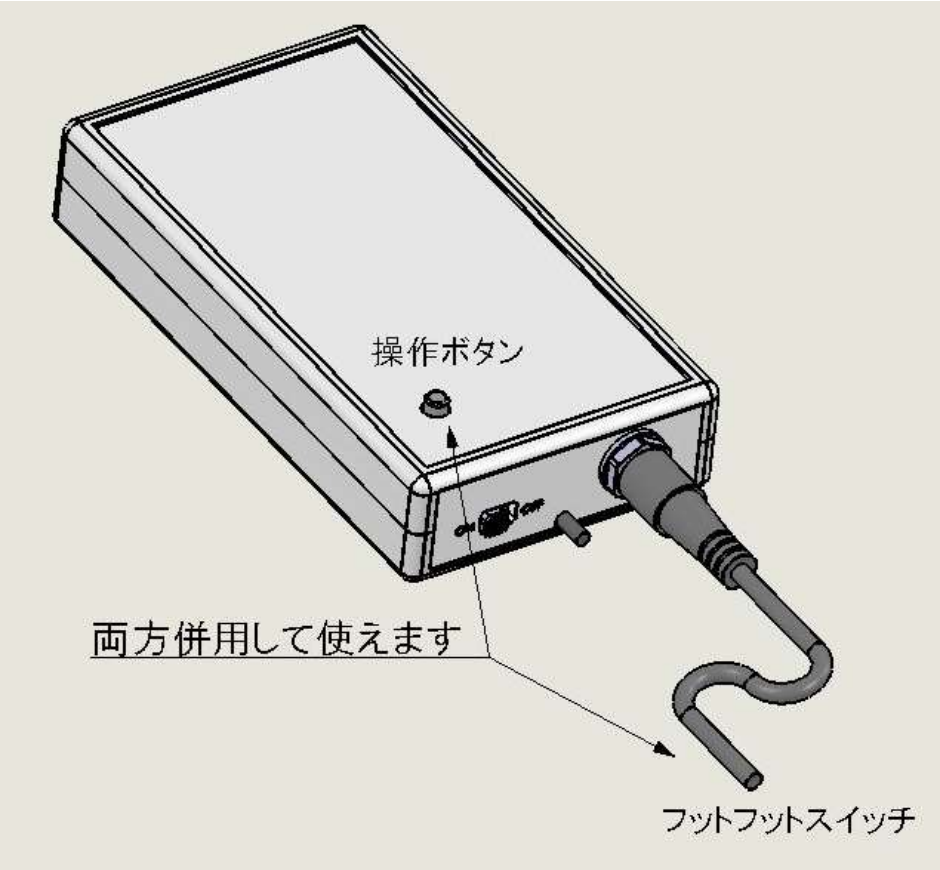
・Φ6.35ｍｍフォンジャック仕様で極性切替機能付きのフットスイッチが使用可能です。

・フットスイッチで操作ボタンの代用が可能になります。

・切替スイッチを操作して、正常に作動する様に設定してください。



※フットスイッチ接続後もコントローラ側の操作ボタンを併用して使用することが可能です。

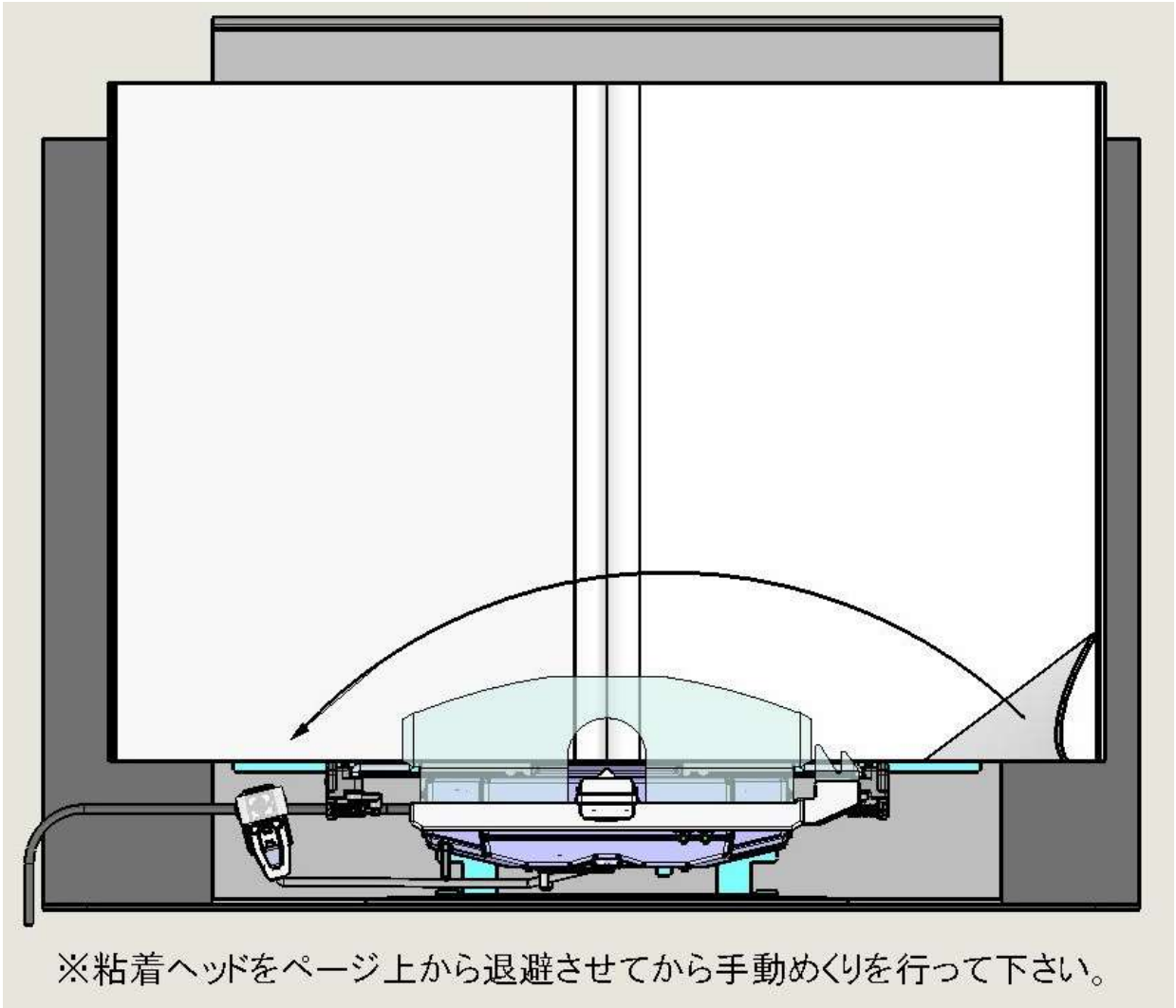


17. 手動ページめくり方法

・諸条件によりページが上手くめくれなかったり、複数ページ戻したり進めたりしたい場合や緊急時には、手動でページめくりを行うことができます。

・通常モードの順めくりでは、ページめくり動作の後、粘着ヘッドはホーム位置で待機しているので、その後に手動めくりを行い、またボタンを操作して自動で順めくりを行うことができます。(自動⇔手動のどちらでもページをめくることができます。)

・粘着ヘッドがページ上にある時は、‘14-a 手動でヘッドをホーム位置に戻す方法’にてページ上からヘッドを退避させてから手動でページめくりを行ってください。



・手動でページをめくる場合は、フィルムレバーが閉じた状態でめくったり，戻したりすることができます。

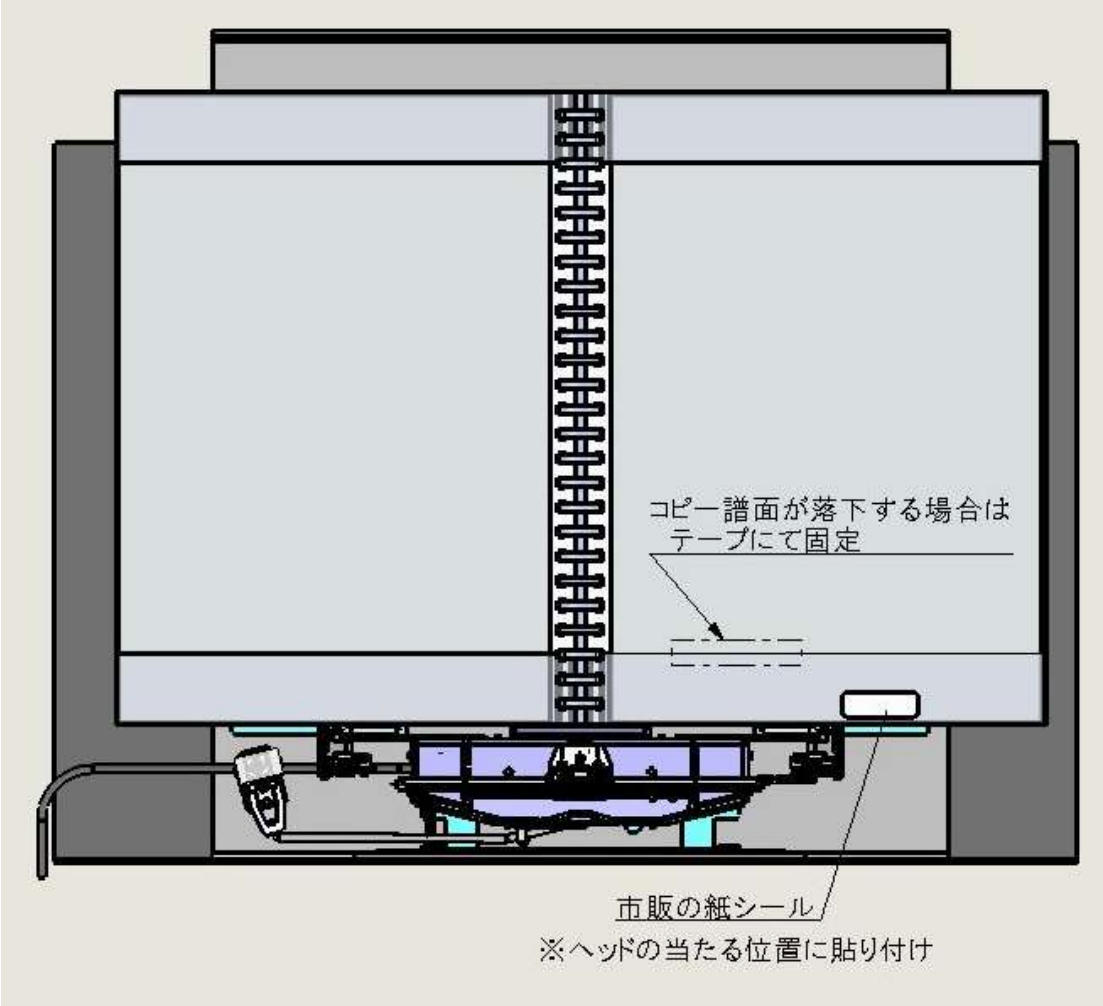
・手動でページをめくる際にフィルムにページが引っかかる場合は、フィルムレバーを開放して行ってください。

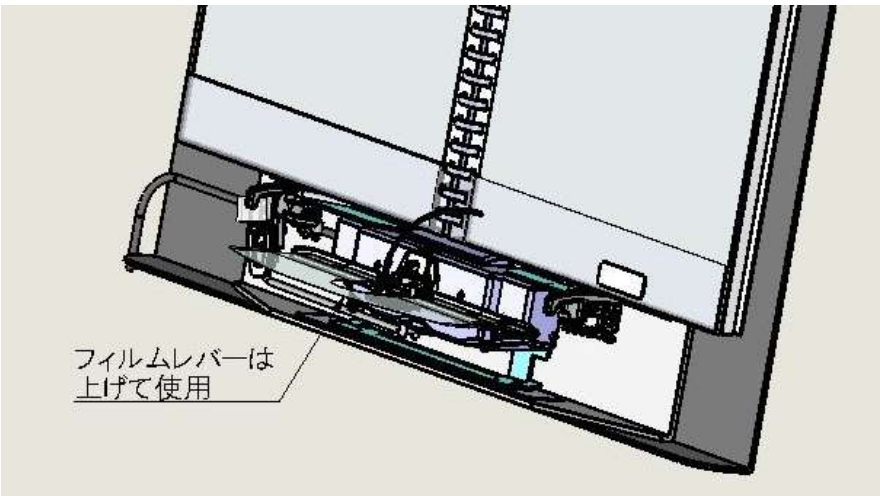
18. 楽譜専用クリアファイルの使用方法

・楽譜ファイルをご使用の場合は、ヘッドの貼り付き面に市販の紙シールを貼ってご使用下さい。また、フィルムレバーは開放した状態でご使用下さい。

・楽譜ファイルの種類によっては本装置で使えない場合があります。

・ページめくり動作中に楽譜ファイルからコピー譜面が落下する場合は、フィルムとコピー譜面をテープ等で固定して下さい。





19. トラブルシューティング

トラブルの種類	原　因	対　策
ページをめくる時にページがたるむ、突っ張る。	装置と楽譜のセンターの不一致 ※厚い楽譜ほどズレを起こし易い。	装置と楽譜のセンター合せを行ってください。(P14,15) 数十ページめくっていくと楽譜のセンターは徐々にズレて行きます。
ページが浮く、めくった後に戻ってしまう	楽譜の折りぐせが弱い 譜面立ての角度が急	折りぐせを再度つける 譜面立ての角度を緩くする 上部ページ押さえの併用
粘着ヘッドが貼り付かない、めくっている途中ではがれる。	吸着パッドの汚れ 譜面の紙質 使用環境温度	吸着パッドのクリーニング 粘着ヘッドの粘着力の強いタイプに交換　(P19~P23)
ページをめくり終わった後、ページから粘着ヘッドがはがれない。	譜面の紙質 使用環境温度	粘着ヘッドの粘着力の弱いタイプに交換　(P20~P23)
動作中にエラー表示が出て止まる。	LowBattery 障害物による緊急停止	電池交換　　(P30~P31) 障害物の排除
ページの折れ曲がりフィルムで引っかかる	用紙が薄く、ページ押さえフィルムで折れてしまう	フィルムレバーを開放してご使用ください。
ページが複数枚一緒にめくれる	静電気等によるページ同士の貼り付き 譜面立ての角度が急	ページをほぐす 譜面立ての角度を緩くする
ヘッドレバーが途中で止まりエラーとなる	内部機構部品の故障が考えられます。	弊社修理受付フォームから問合せください。

20.製品仕様

【Doremi_Flipper 製品仕様】　　2019.4.12

ページめくり方式	超低硬度エラストマー粘着方式 （特許出願済）
粘着ヘッド耐久枚数	500 ページ以上/1ヘッド （クリーニング含む）
ページめくり方向	連続一方向捲り，1ページのみ逆戻し可
ページ押さえ方式	透明フィルム押さえ方式 （解除可）
ページめくり保障耐久枚数	5,000 ページ
本体サイズ（幅×奥行×高）	341mm×82mm×50mm （機械体本体）
設置時サイズ（幅×奥行×高）	360mm×410mm×55mm （保護カバー展開時）
本体重量	500g （コントローラ部除く）
対応可能楽譜サイズ	A4 サイズファイル、楽譜（菊倍判）
対応可能楽譜厚	Max 20mm
譜面立許容角度	0° ～70°
ページめくり時間	約 2.5 秒／（練習モードは約 5 秒）
駆動電源	単 3 電池×4 本
電池寿命枚数	1,000 ページ以上（駆動条件による）
動作環境	温度：5℃～30℃　湿度：20%～70%
対応フットスイッチ	Φ6.35mm フォンジャック、極性切り替え方式
保証期間	販売後 1 年 （保証書記載内容にて）

21.保守サービスのご案内

・「故障かな？」と思った時は、あわてずに、まずトラブルシューティングをお読みください。（19.トラブルシューティング）
・保証期間中に。万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
・保守サービスの御相談、お申し込みは、下記で承ります。
・消耗品，サービスパーツに関しては弊社ホームページをご覧ください。

有限会社　エフ・アンド・エフ　　http://www.f-and-f.com
TEL:0263-54-9370
FAX:0263-54-9372
受付時間：月～金曜日　（土日祝日、弊社休日除く）
9:00～17：00

ホームページからの修理依頼　⇒　Doremi_Flipper 修理受付フォーム
mail:　ff-info@f-and-f.com
※受付時間外の場合は直ぐに御返できない場合があります。